

桜ヶ丘ミュージアム所蔵

# 豊川海軍工廠資料集



## ごあいさつ

「桜ヶ丘ミュージアム所蔵－豊川海軍工廠資料集」をここに刊行いたします。

昭和14(1939)年12月15日、海軍の航空機や艦船などが装備する機銃とその弾丸の主力生産工場として豊川海軍工廠は開庁しました。その後、戦局の拡大と呼応し、昭和16(1941)年に光学部、18(1943)年に指揮兵器部、19(1944)年に器材部が新設され規模を拡大し、巨大兵器工場へと発展していきました。ここでは、戦時下の困難な生活状況や海軍式の厳しい規律の中、5万人以上もの人々が日夜を問わず戦争の勝利を信じて働く姿がありました。しかし、終戦間際の昭和20(1945)年8月7日の空襲により多くの施設が破壊され、2,500人以上の方々が犠牲になるなど壊滅的な被害を受け、兵器工場としての歴史を終えました。

桜ヶ丘ミュージアムでは、館の活動として豊川市の歴史に関わる資料の収集を行っており、中でも豊川海軍工廠資料についてはこれまでに約1,800点を収蔵するに至り、当館において最もまとまった資料群となっています。これらは平和の尊さを今でも私たちに伝えるものであり、また軍事機密や終戦後の資料破棄により様相の不確実な当工廠を知る上で重要な資料でもあります。

本年は、終戦60周年の節目となります。より戦争を体験したことのない世代が増える中で、豊川海軍工廠資料を収集し後世へ伝えることは当館の重要な役割であり、その礎として本書を発刊することといたしました。

最後になりますが、資料を寄贈していただいた方々ならびに本書の刊行にあたりご協力をいただいた関係各位に厚くお礼申し上げます。

平成17年6月

桜ヶ丘ミュージアム

# 目次

---

凡例	3
豊川海軍工廠略史	4
巻頭カラー図版	5

---

## 資料目録

---

1 生産品類	23
2 備品類	31
3 記録資料	51
4 空襲関係資料	63
5 個人関係資料	65
6 図書資料	77
7 写真資料	89

---

# 凡 例

一、本書は、桜ヶ丘ミュージアムが平成17年4月1日現在で所蔵する豊川海軍工廠関係資料について、多くの方々に知っていただき、また学術研究等に有効利用されることを目的として発行するものです。

一、本書は、主要資料を掲載した巻頭カラー図版及び資料目録で構成されています。

一、資料目録は、大分類-細目-細々目に分類し収録しました。

一、資料の分類は、下記のとおりです。

大分類	細目	細々目	大分類	細目	細々目
1 生産品類	1 機銃部	1 完成品及び未成品 2 素材類	5 個人関係資料	1 証明書類	1 卒業証書
	2 火工部				2 賞状類
	3 光学部				3 証明書
	4 給料明細書				
2 備品類	1 機銃部	1 生産工程に関係する備品類、2 生産工程に関係ない備品類、3 事務用品類、4 収納箱類、5 食器類		2 所持品類	1 徽章・名札など
	2 火工部				2 手帳類
	3 光学部				3 通帳
	4 指揮兵器部				4 衣服類
	5 共済病院				5 印鑑
	6 工具養成所				6 給料袋
	7 寄宿舍				7 その他
	8 その他				
3 記録資料	1 図面類	1 施設関係	1 工員養成所関係	1 教科書	
		2 生産品関係		2 ノート	
	2 書類	1 名簿類		3 日記	
		2 その他		4 その他	
		3 終戦後の書類	2 工場関係	1 兵器製造関係	
	3 文書類	1 開庁式関係		2 共済病院関係	
		2 採用関係		3 工場使用図書	
		3 工員養成所関係		4 しおりなど	
		4 豊廠団報		5 雑誌	
		5 その他		1 施設風景など	1 終戦前
	6 終戦後	2 終戦後			
	4 その他	1 ポスター	2 記念写真		1 公的記念
4 空襲関係資料	1 爆弾破片など	1 500ポンド爆弾破片		2 私的記念	
		2 機銃弾	3 その他	1 作業風景	
		3 その他		2 生活風景	
	2 文書類	1 死亡通知関係		3 その他	
		2 その他			

一、資料目録の掲載方法は、下記のとおりです。

大 細 細  
分 目 目  
類 目 目

5-2-7(686,723) — 固有番号

定期乗車券(豊橋-西豊川) — 資料名

8.5×6.0cm, 2点 — 寸法

昭和20年4月14日発行、昭和20年4月18日から昭和20年10月17日まで有効。[686] — 複数あれば、数量

昭和20年6月14日発行、昭和20年6月18日から昭和20年11月17日まで有効。飯田線豊橋駅発下りの時刻表のメモ添付。ケースあり。[723] — 説明

— 固有番号



一、本書の編集及び執筆は、平松弘孝(桜ヶ丘ミュージアム学芸員)が行い、生産品類に関しては小林賢二氏よりご教示いただきました。



## 豊川海軍工廠略史

満州事変が始まり、国際連盟を脱退するなど国際的孤立の道を歩み始めたわが国は、ワシントン、ロンドン海軍軍縮条約を破棄し再び軍備増強へと進み出します。昭和11(1936)年に海軍は新たに艦船や航空機が使用する機銃とその弾丸などを生産する工廠の建設を計画し、旧宝飯郡豊川町・牛久保町・八幡村にまたがる本野ヶ原がその地として選定されました。豊川海軍工廠です。昭和13(1938)年から横須賀海軍建設部により工事が始められ、第一機銃工場など一部の施設の完成をもって、昭和14(1939)年12月15日に開庁式が行われました。当初は、機銃部と火工部の二つの造修部門でスタートし徐々に施設が整備されていきましたが、戦局が激しくなるにつれて新たな造修部門の新設が企図され、昭和16(1941)年12月15日に測距儀や双眼鏡などを生産する光学部、昭和18(1943)年9月1日に射撃装置などを生産する指揮兵器部、昭和19(1944)年4月15日には工具の造修や機銃・火工兵器などの部品の鋳造・鍛造を行う器材部が設けられました。

豊川海軍工廠の敷地は工場部分だけで186ヘクタール(外周約6.3km)あり、碁盤の目のように区切られた区画の中には整然と工場や諸施設が並び、その建設には当時の金額で約8億円の費用を要したといわれています。工廠の周囲には、工廠神社や海軍集会所・官舎・工員寄宿舎・海軍共済病院・工員養成所など関連する施設が次々と建設されていき、また新興工業都市建設のための区画整理事業も始められるなど、まさに工廠の街へと発展していきました。工廠の発展やこれに伴う人口の増加は、町村を合併させ新市を発足させる機運を生みだし、昭和18(1943)年6月1日、旧宝飯郡豊川町・牛久保町・国府町・八幡村が合併し豊川市が誕生しました。



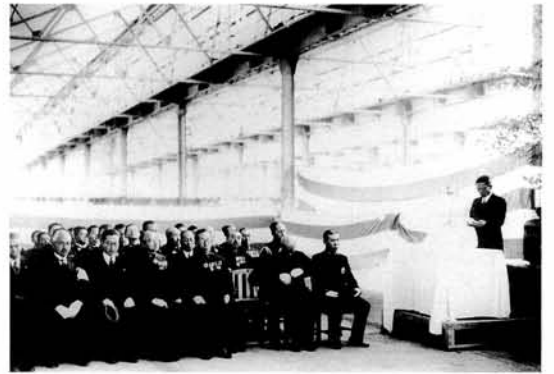
弾丸防湿作業風景

豊川海軍工廠では、最盛期に約5万人以上もの人々が働いており、工廠長をトップとし、各部に部長、主任、係官、係員が組織され、その下に工手、職手、一等工員、二等工員などに区分された工員らが兵器生産に従事していました。戦局が激しくなると青年男子は続々と戦地へ召集され、内地における労働人口の不足は深刻化し、昭和18(1943)年以降、未婚女性の女子挺身隊や学徒の軍需工場への動員が行われ、昭和20(1945)年3月にはわずか12~13才の国民学校高等科児童までもがその対象となり、彼らが生産を支える存在となっ

ていきました。

昭和19(1944)年秋以降、米軍の本土空襲が本格化すると工場の疎開が始められ、千両・麻生田・三蔵子・市田などの周辺地域、三河榎原・中部天竜・天竜峡・飯田などの飯田線沿線、遠くは長野県下諏訪や箱山に施設の移転が進められました。しかし、その疎開率は全体から見ると僅かであったようです。昭和20(1945)年5月19日には、指揮兵器部付近が被弾し30余人が犠牲となり、空襲の脅威が現実のものとなりました。

そして終戦間近の昭和20(1945)年8月7日、豊川海軍工廠は米軍のB29爆撃機124機とP51戦闘機45機からなる大編隊による空襲を受けます。午前10時13分からわずか30分足らずの間に3,256発の500ポンド爆弾が投下され、工場は壊滅的な被害を受け、2,500人以上の方が犠牲となりました。そして焼け跡のかたづけもままならない8月15日に終戦を迎え、兵器工場としての歴史を終えることとなりました。



豊川海軍工廠竣工式典風景



空襲後の豊川海軍工廠

---

## 巻頭カラー図版

---

# 1 生産品類



各種機銃弾薬包の弾丸及び薬莖

豊川海軍工廠では、海軍航空機に搭載された七糎七、十三糎、二十糎、三十糎機銃や艦船・陸上用の十三糎、二十五糎、四十糎機銃が生産され、その弾丸も大量に生産された。

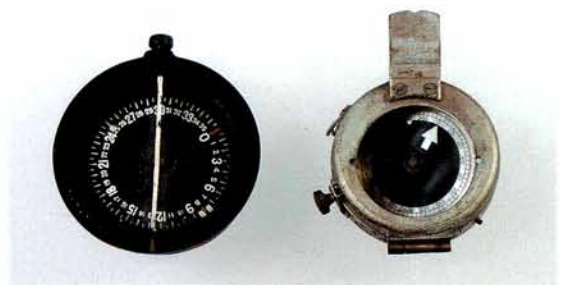


7倍双眼鏡

昭和16(1941)年12月15日には新たに光学部が設置され、双眼鏡・潜望鏡用レンズ・磁気羅針儀などの光学兵器が生産された。



潜望鏡用レンズ



磁気羅針儀

## 2 備品類



各種工具類



ライフルリング検査鏡

機銃の銃身の中を、鏡を利用して検査する道具。



タップ

雌ねじを作る工具。機銃部で使用されたもの。



各種弾薬包及び信管収納箱





**光学部事務所看板**

「光学部」の墨書が消えてしまっているが、下の写真にある看板と同一のものである。裏面には「昭和十七年五月八日 新築移転式 海軍大佐出石寛二書」の墨書がある。



**豊川海軍共済病院看板**

昭和15(1940)年12月、工廠の南側(現在の豊川警察署・豊川保健所付近)に豊川海軍共済病院は竣工した。



**豊川海軍共済病院新本館**



**光学部庁舎完成移転記念**



**菊花紋章**

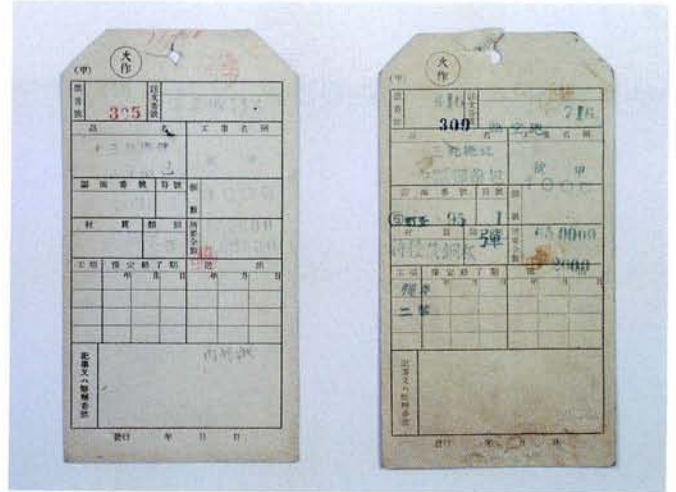
工廠正門の南東約100mに所在した工廠神社に使用されたもの。



**豊川海軍共済病院幕**



弾薬包表示ラベル



十三耗機銃曳跟弾薬包注文票



相馬六郎工廠長自作書

相馬六郎は第二代工廠長。

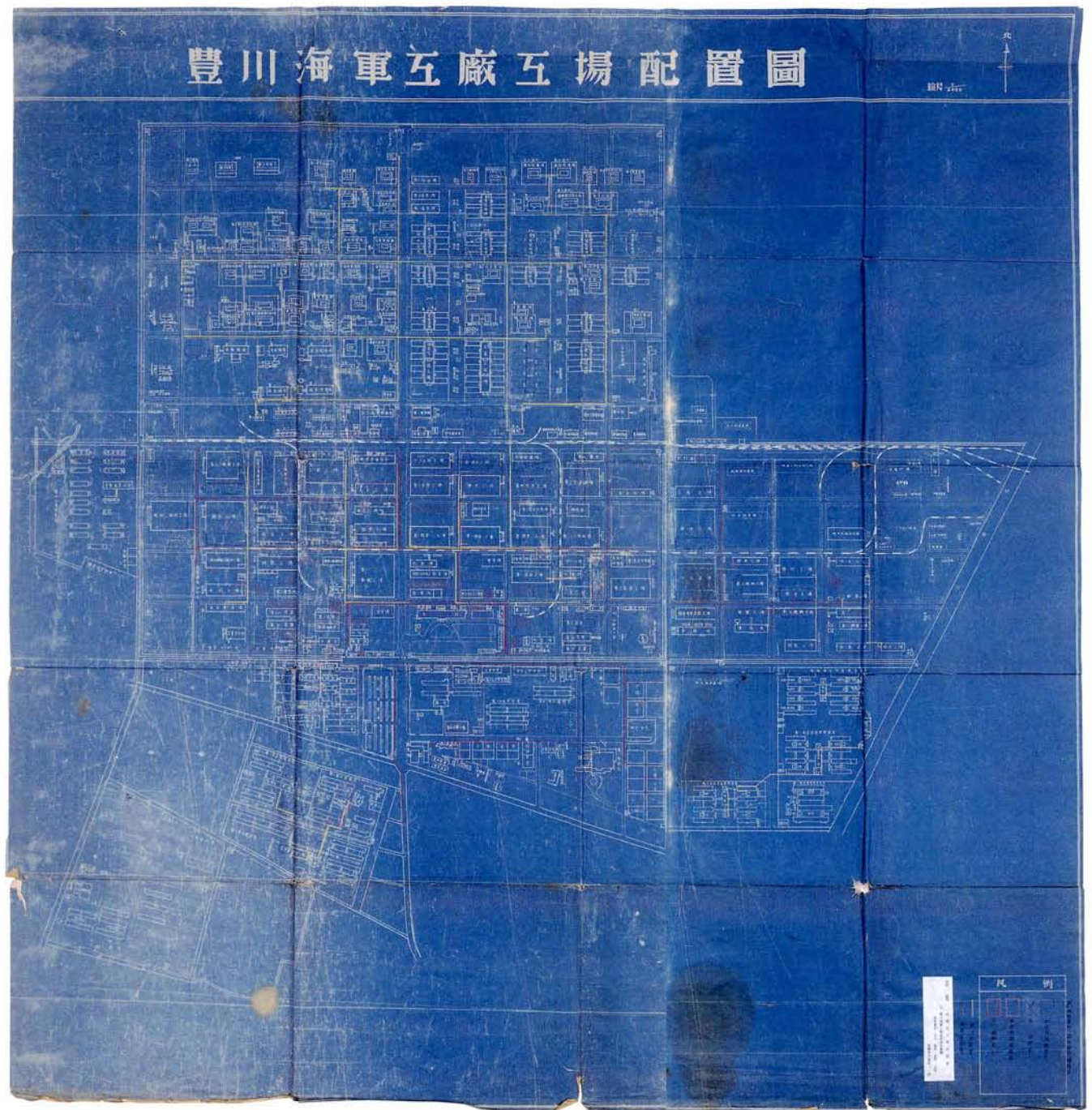


各種海軍食器

工廠で使用されたもの。珐瑯(ほうろう)製と陶製がある。



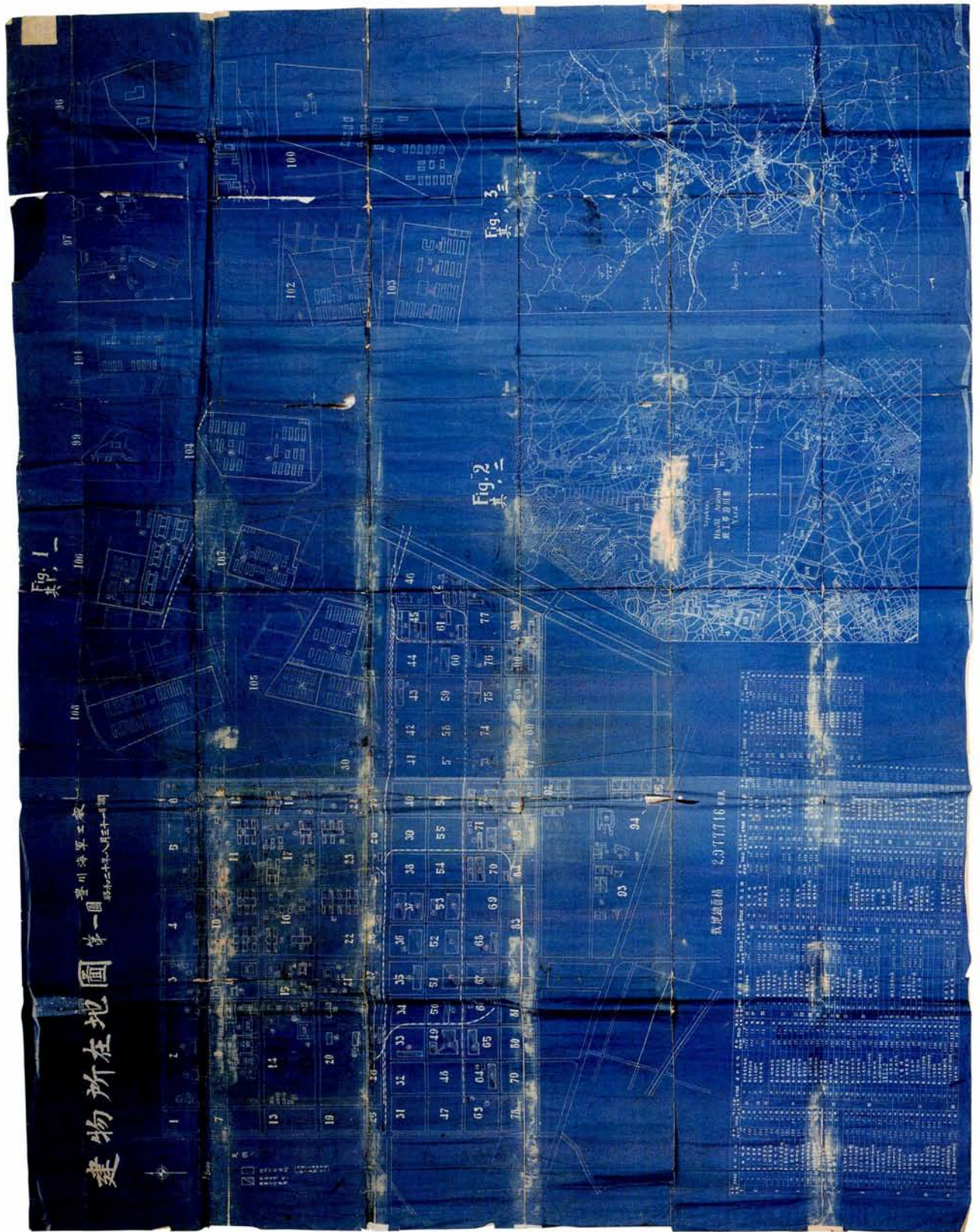
### 3 記録資料



豊川海軍工廠工場配置図

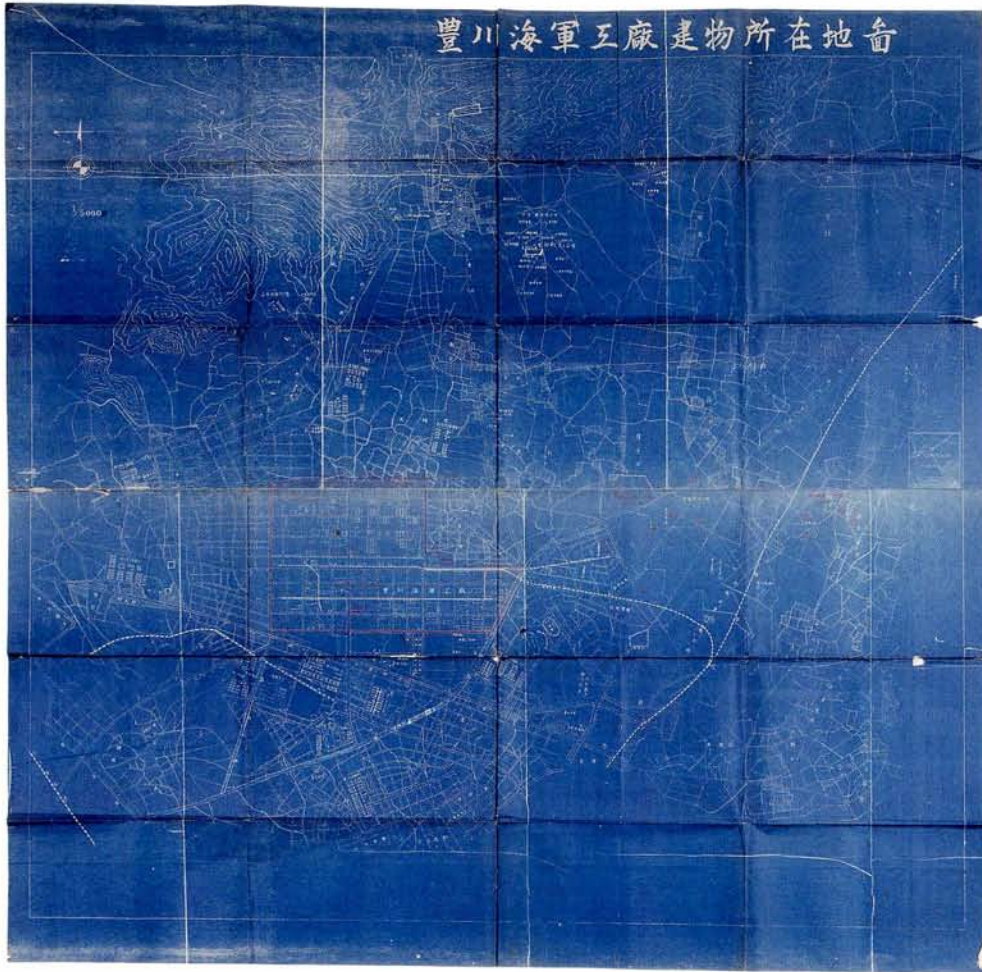
豊川海軍工廠が最も整備された時期の図面で、ほぼ全ての施設名称を知ることができる。工廠に隣接した海軍共済病院、工員養成所、寄宿舍なども描かれている。瓦斯布設管が赤線で、蒸気敷設管が黄線で示してあり、また疎開を予定もしくは完了した建物も図示してある。





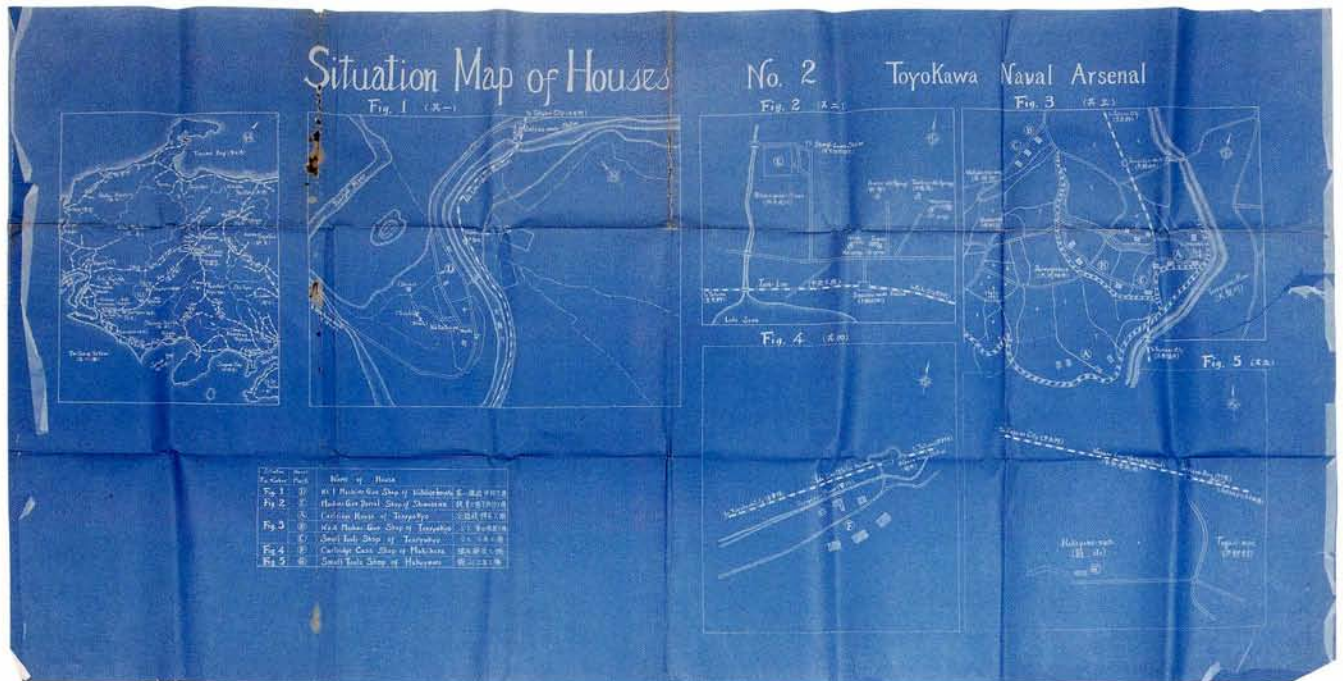
**建物所在地図第一圖**  
 工廠本体の図では、空襲後も使用可能な建物、及び木造で半壊或いは鉄骨で全壊した建物が描かれている。其ノ二では工廠周辺に存在した関連施設を、其ノ三では豊橋市伊古部町にあった海岸発射場の位置を示してあり、それぞれに施設の建物配置を別枠で描いている。各施設物総面積・取寄人員・戦災の有無をまとめてある。進駐車の接取に備えて作成された図面。





豊川海軍工廠建物所在地畵

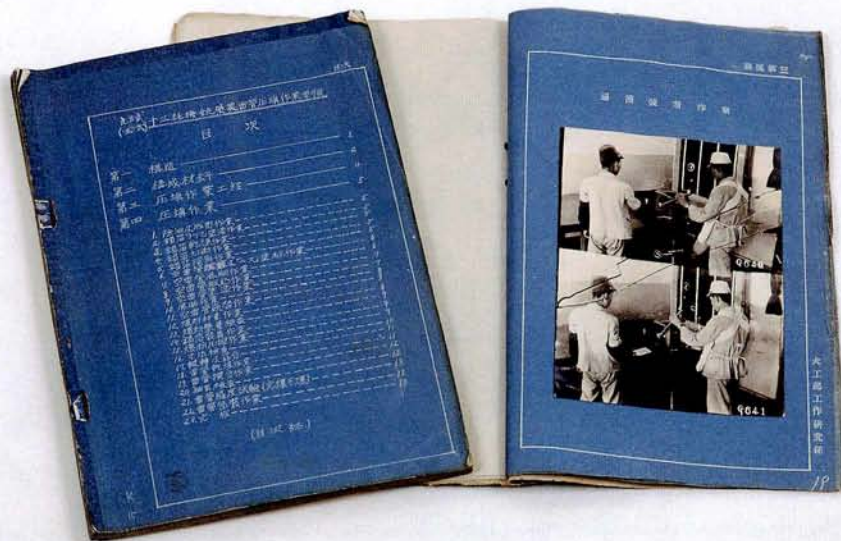
工廠を中心に、北は現在の千両町、南は牛久保町、東は麻生田町、西は八幡町付近まで描かれており、北東部は宝飯郡一宮町も含まれる。工廠だけでなく、周辺に存在した関連施設・疎開工場の位置や施設名も知ることができる。



建物所在地畵 第二畵

榎原(愛知県鳳来町)・中部天竜・下諏訪・天竜峡・箱山(長野県)に疎開した工場が描かれている。進駐軍の接収に備えて作成された図面。





九三式(三式)十三耗機銃薬莖雷管  
圧填作業要領(左)

二十五耗機銃火管雷管圧填作業要  
領(右)



光学部総員名簿(左)

昭和20(1945)年3月15日調。係・工場別に工員の氏名・官・等級・旧俸・連絡に当たるべき家族の住所・氏名・扶養家族の人数・最寄郵便局などが記載されている。約2,500名分の名簿。



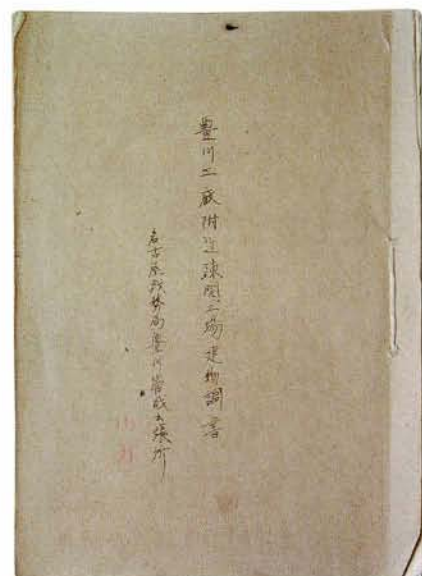
終戦復員二伴フ工員名簿(右)

火工部の終戦復員に伴う工員名簿。係・工場別に氏名・給料・送金先住所などが記載されている。約18,000名分の名簿。

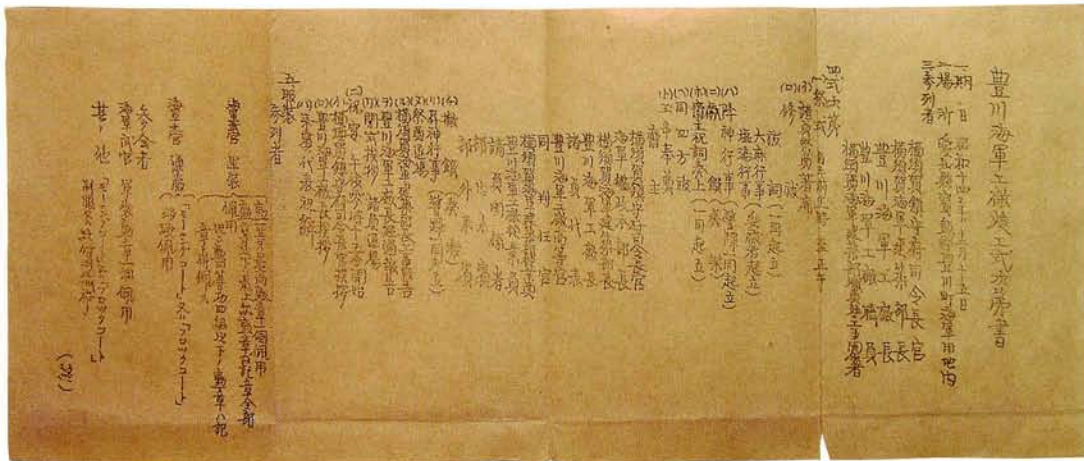
死亡診断書綴 豊川海軍共済病院(左)  
昭和20(1945)年1月3日から8月22日までの間における229名の死亡診断書の綴り。5月19日、8月7日の空襲死亡者の診断書もある。



豊川工廠附近疎開工場建物調書(右)  
終戦後の残務整理の書類。工廠付近の疎開工場の建物の調書や位置などが記されている。

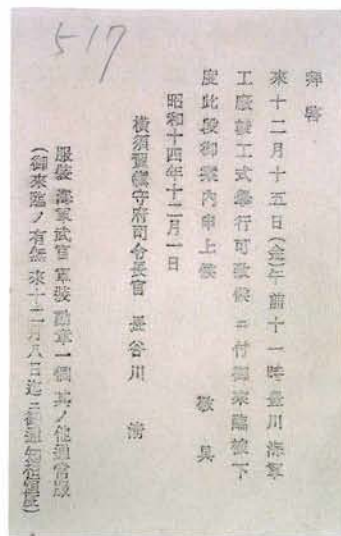






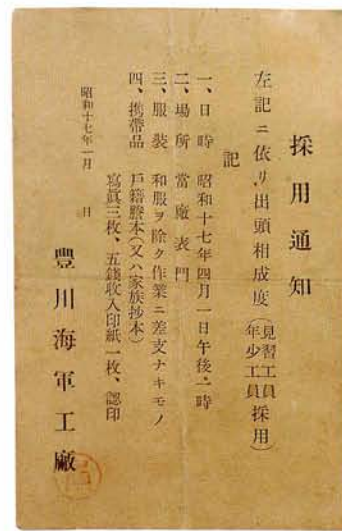
**豊川海軍工廠竣工式次第書**

昭和14(1939)年12月15日の豊川海軍工廠竣工式の次第書。



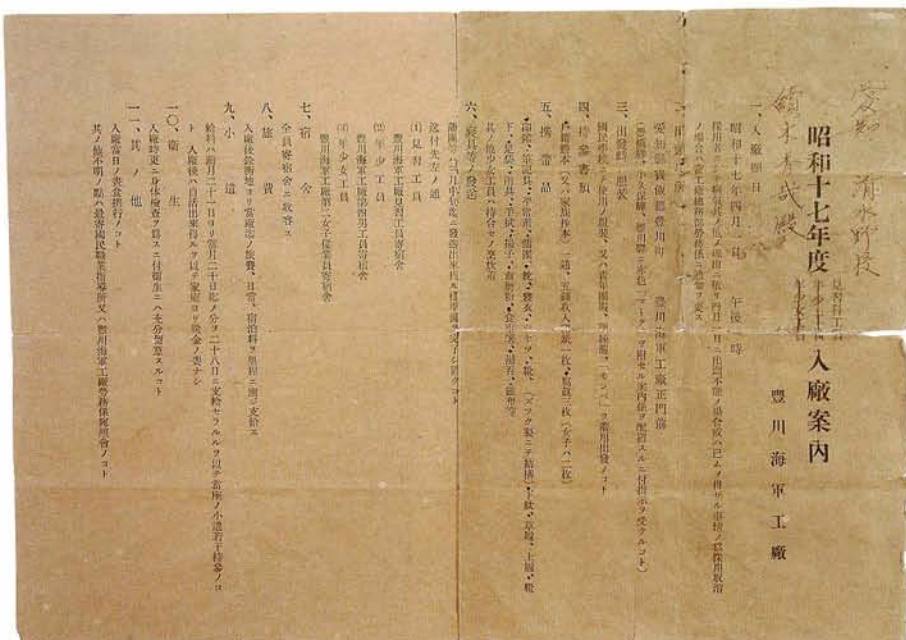
**豊川海軍工廠竣工式案内はがき**

昭和14(1939)年12月1日付。横須賀鎮守府司令官長谷川清より。



**採用通知**

工具養成所の採用通知。



**昭和十七年度見習科工員入廠案内**

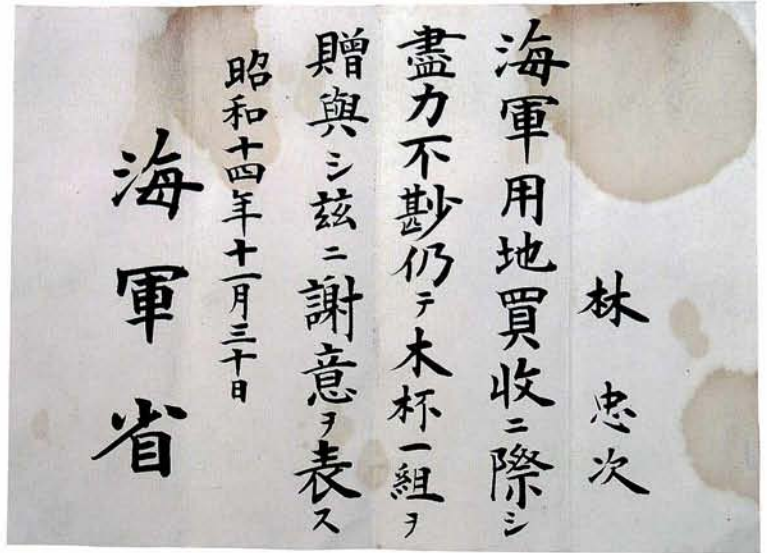
工具養成所見習科の入廠案内。





徴用令書

昭和14(1939)年7月に公布された国民徴用令により、国民を強制的に軍需工場へ動員させることが可能となった。徴用令書は、兵役の召集令状が赤紙と呼ばれたのに対し白紙と呼ばれた。



海軍用地買収謝意状

工廠建設用地の買収に対する海軍省からの謝意状。



豊廠団報 第五号

豊川海軍工廠の廠内報。昭和18(1943)年2月から発行されたと考えられる。月1回発行。



ポスター「豊川海軍工廠男女工員募集」

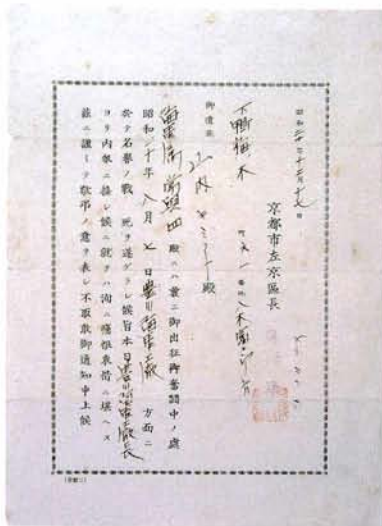


## 4 空襲関係資料



豊川海軍工廠空襲目撃図

機銃部に勤めていた渡辺毅氏が、昭和20(1945)年8月7日午後4時頃の様子を描いたというもの。



戦死通知書

豊川海軍工廠での戦死を、京都市左京区長から遺族へ通知した文書。

500ポンド爆弾の破片がささった跡のある柱

工廠近くの民家の蚕室の柱。500ポンド爆弾の破片がささった跡がある。

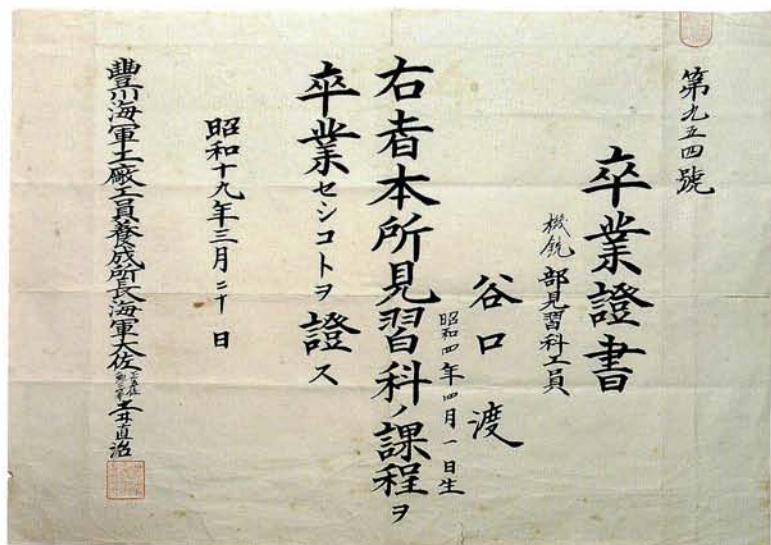


500ポンド爆弾の破片

昭和20(1945)年8月7日の空襲では、500ポンド爆弾が3,256発投下された。



## 5 個人関係資料

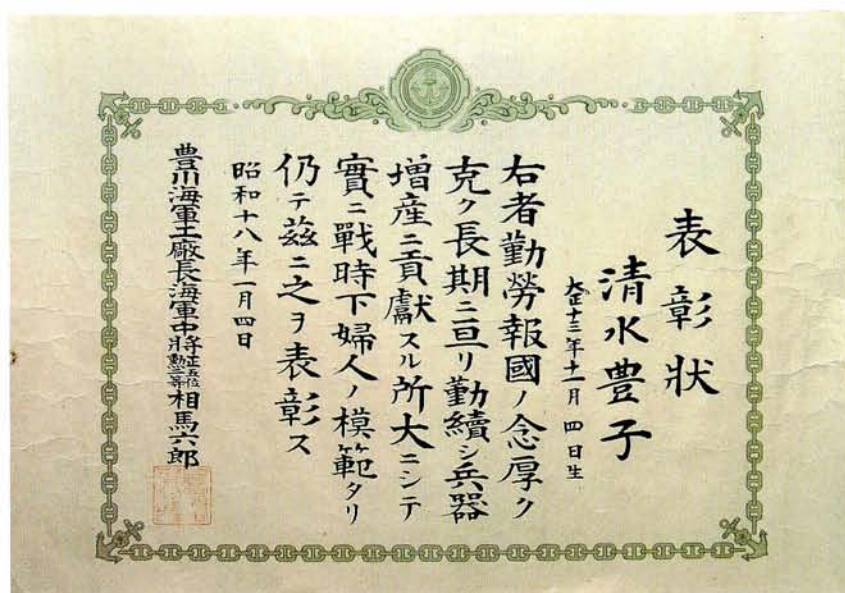


工員養成所見習科卒業証書

工員養成所は、昭和15(1940)年4月に開校した。見習科の修業年限は2年であったが、戦局の悪化により1年6ヶ月あるいは1年と短縮された。



身分証明書



表彰状



名札(会計部材料課)

各部ごとに名札の色は決められていた。



工員徽章



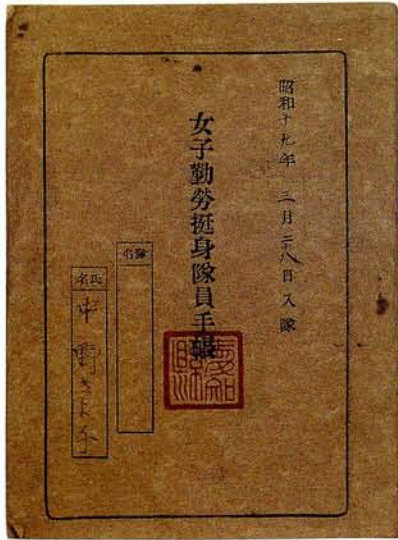
徴用工員徽章



工員職札

工員らは、札場にある各自の職札を出勤時に裏返しました。これにより人事係が出勤の確認を行った。





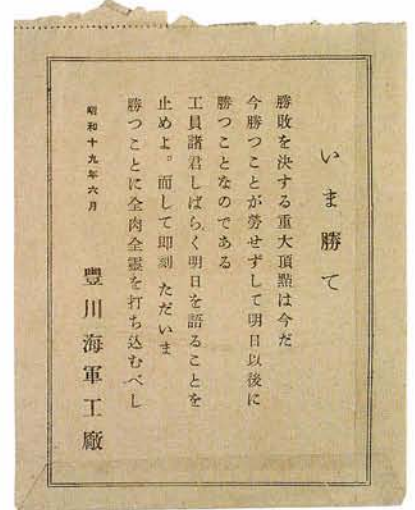
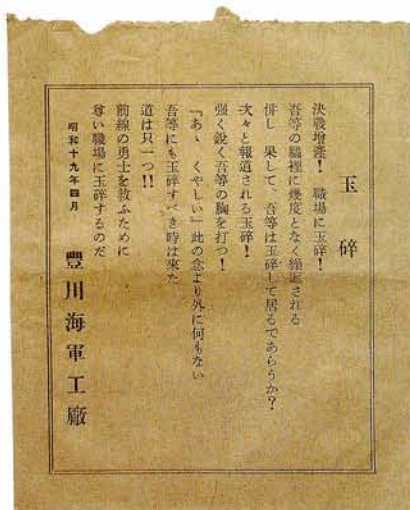
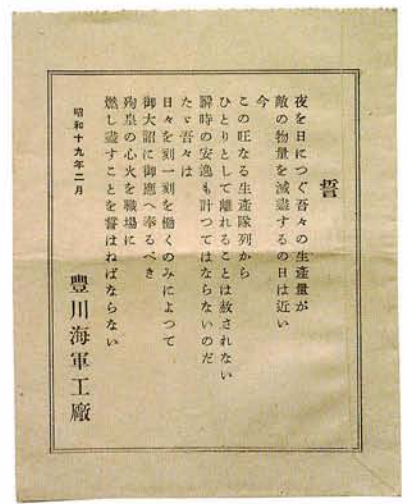
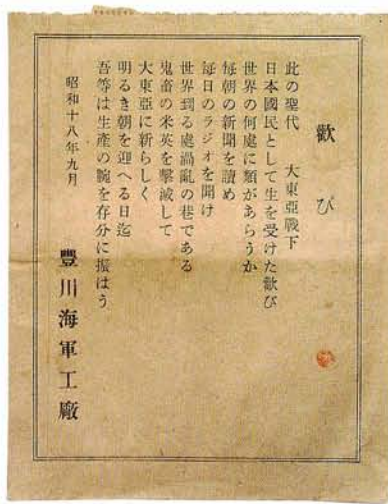
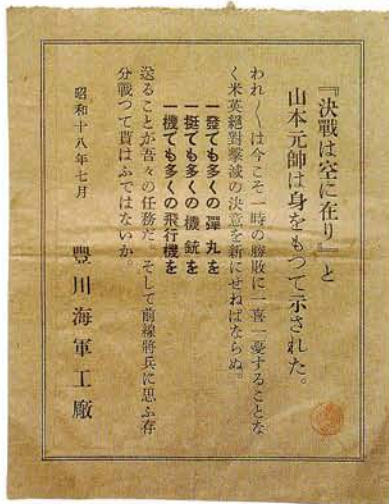
女子勤勞挺身隊員手帳

出勤状況が記入されており、当時の勤務状況を知ることができる。



勤勞報國銘入り扇子

女子工員に与えられたもの。



給料袋に印刷された檄文

給料袋には、檄文が印刷されたものもあり、月により異なる内容となっていた。



## 6 図書資料



### 工員養成所で使用された各種教科書

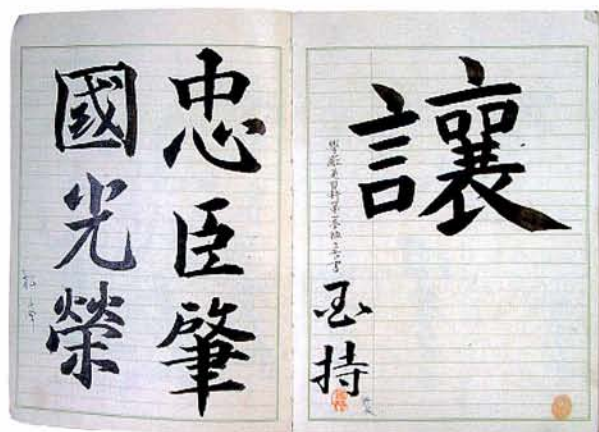
工員養成所における授業は、旧制中学と同程度の高度な内容で、当時敵性語として徐々に廃止されていった英語の授業も行われていた。

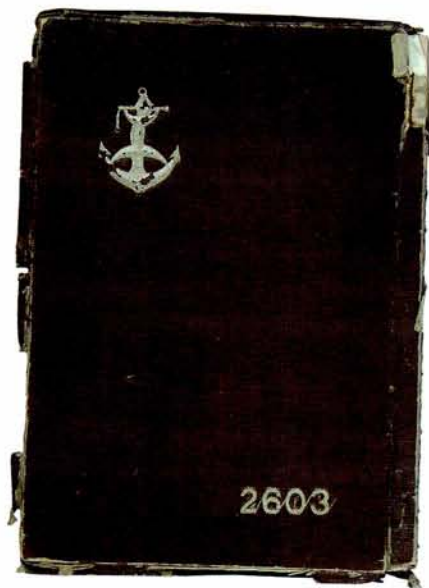


### 見習工員日誌

工員養成所の見習科工員の日誌。当時の様子を伺うことができる。

### 工員養成所卒業記念寄書帳





第一・二期見習科工員 卒業記念帳

工員養成所の卒業記念帳。写真が数多く掲載されており、当時の工員養成所の様子を伺うことができる。第三期生以降は記念帳が作られなくなったという。



海軍工員服務綱領(左)

従業員必携 豊川海軍工廠(右)

工廠における様々な制度などが記載されている。



生活のしをり  
豊川海軍工廠女子従業員寄宿舎

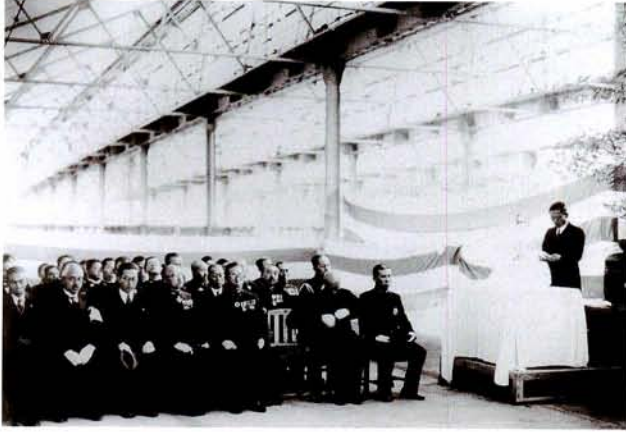


私達の寄宿舍

女子従業員募集のために制作されたパンフレット。



## 7 写真資料



竣工式式典

竣工式は、昭和14(1939)年12月15日に行われた。



電気工場変電所増設工事竣工記念



女子工員記念



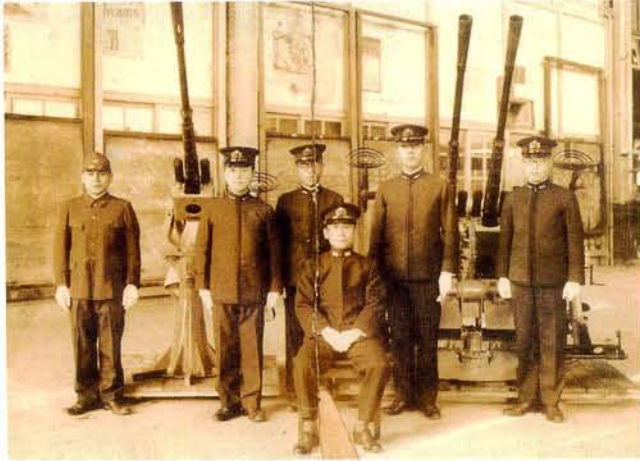
工員出征記念



光学部・指揮兵器部事務所付近

空襲前の豊川海軍工廠の様子が最もよく分かる写真である。





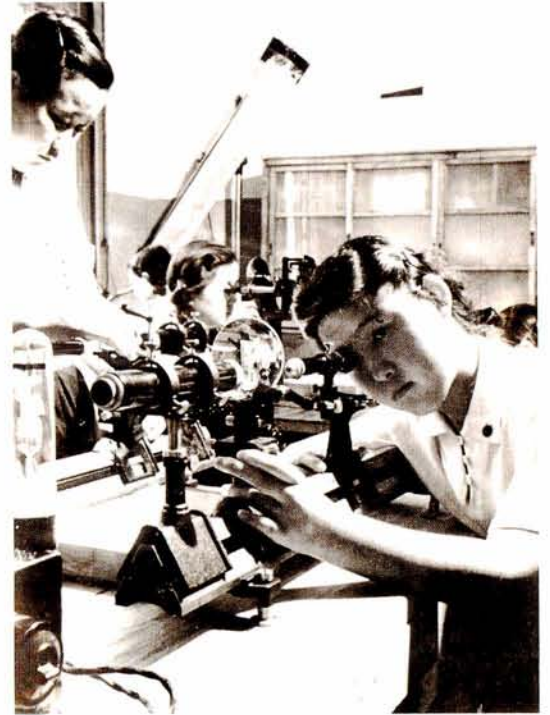
九六式二十五耗二連装機銃・単装機銃前にて工員記念



四十耗機銃1号機完成記念



弾丸防湿作業風景



レンズ検査作業風景



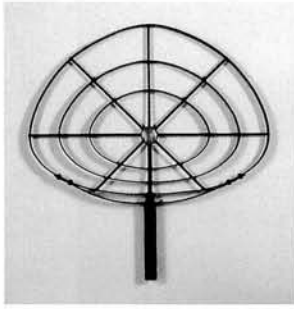
空襲後の豊川海軍工廠(正門付近)

*1*

生 産 品 類

---

1-1-1(843)



**九六式二十五糎機銃架一  
型改二環型照準器**

29.1×27.5×1.5cm, 2点  
「架1525」、「架一二六三」右と記さ  
れている。

1-2-1(173,634)



**七糎七機銃弾薬包の焼夷  
弾一型の弾芯**

0.6×0.6×1.5cm, 11点

1-1-1(684)



**十三糎機銃銃架**

53.0×53.0×89.0cm

1-2-1(841)



**七糎七機銃弾薬包の焼夷  
弾二型**

0.7×0.7×3.6cm

1-2-1(708,768)



**七糎七機銃弾薬包の曳戻  
弾**

0.7×0.7×3.6cm, 28点  
工場跡地より出土。【708】

1-2-1(842)



**七糎七機銃弾薬包の徹甲  
弾**

0.7×0.7×3.5cm

1-2-1(840)



**七糎七機銃弾薬包の曳戻  
弾**

0.7×0.7×3.6cm, 2点  
製造途中。

1-2-1(168)



**七糎七機銃弾薬包の徹甲  
弾の弾身**

0.6×0.6×2.8cm, 3点

1-2-1(169)



**七糎七機銃弾薬包の擬製  
弾**

1.2×1.2×5.7cm  
「ヨ、1-11,7.7」の底部刻印あり。薬  
莖は横須賀海軍工廠製。

1-2-1(167)



**七糎七機銃弾薬包の徹甲  
弾の被甲**

0.7×0.7×3.5cm, 4点  
製造途中。



1-2-1(166)

七耗七機銃弾薬包の普通弾

0.7×0.7×3.6cm、3点



1-2-1(838)

三式十三耗機銃弾薬包の焼夷弾二型の弾丸

1.3×1.3×6.0cm  
製造途中。



1-2-1(709,835)

七耗七機銃弾薬包の薬莖

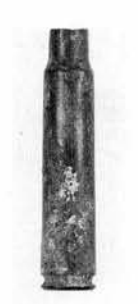
1.3×1.3×5.5cm、3点  
・工廠跡地より出土。【835】



1-2-1(839)

三式十三耗機銃弾薬包の弾丸

1.3×1.3×6.2cm  
製造途中。徹甲弾か普通弾。



1-2-1(837)

一式七耗九機銃弾薬包の薬莖

1.3×1.3×5.6cm



1-2-1(174)

九三式十三耗機銃弾薬包の弾芯

1.2×1.2×5.0cm、3点



1-2-1(710,836)

二式十三耗機銃弾薬包の薬莖

1.6×1.6×6.5cm、15点  
製造途中。  
・工廠跡地より出土。【710】



1-2-1(170)

十三耗機銃弾薬包の弾丸

1.3×1.3×6.3cm、2点  
普通弾か徹甲弾。



1-2-1(176)

二式十三耗機銃弾薬包の曳跟通常弾の無撃針型信管

1.0×1.0×1.6cm、2点



1-2-1(171)

十三耗機銃弾薬包の弾丸

1.3×1.3×6.3cm  
製造途中。

1-2-1(711)



十三耗機銃弾薬包の薬莖

2.0×2.0×7.3cm, 2点  
工廠跡地より出土。

1-2-1(177)



九九式二十耗機銃弾薬包  
の惠式二十耗三型信管

1.6×1.6×2.3cm

1-2-1(769)



九九式二十耗機銃弾薬包  
の曳跟弾

2.0×2.0×6.6cm

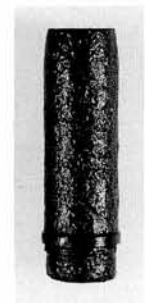
1-2-1(134)



九六式二十五耗機銃弾薬包  
の通常弾

2.5×2.5×8.9cm

1-2-1(175)



九九式二十耗機銃弾薬包  
の焼夷通常弾

2.0×2.0×6.6cm, 2点

1-2-1(831)



九六式二十五耗機銃弾薬包

2.8×2.8×23.3cm  
「惣S12/16可也」の底部刻印あり。  
弾丸は通常弾。

1-2-1(834)



九九式二十耗機銃弾薬包  
の弾丸

2.7×2.7×16.3cm, 2点

1-2-1(21)



九六式二十五耗機銃弾薬包  
の曳跟通常弾

2.5×2.5×11.0cm, 2点

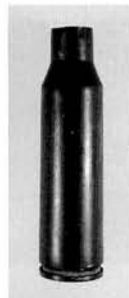
1-2-1(712)



九九式二十耗機銃弾薬包  
(二号)の薬莖

1.8×1.8×9.3cm

1-2-1(629,832,833,857)



九六式二十五耗機銃弾薬包  
の薬莖

4.1×4.1×16.2cm, 4点





1-2-1(253)

**九六式二十五耗機銃弾薬包の薬莢**

4.2×4.2×15.9cm  
製造途中。



1-2-2(487)

**アルミ箔**

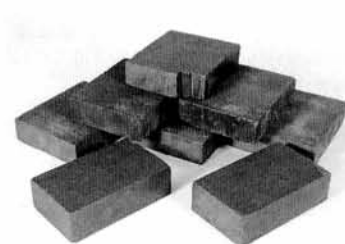
60.0×9.5cm, 94点



1-2-1(211)

**九六式二十五耗機銃弾薬包の着発信管一型**

2.0×2.0×3.2cm



1-2-2(488)

**黒鉛塊**

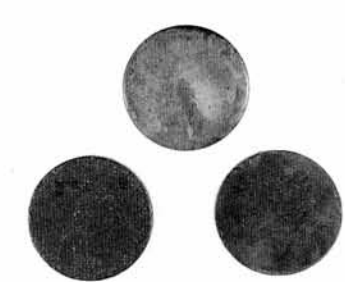
9点



1-2-1(235)

**五式三十耗機銃弾薬包の演習弾**

3.0×3.0×10.7cm



1-2-2(233)

**十三耗機銃薬莢の素材**

4.5×4.5×0.6cm, 3点  
この素材を圧填し薬莢を作り出す。



1-2-1(830)

**五式三十耗機銃弾薬包の薬莢**

3.7×3.7×12.1cm



1-2-2(682)

**精製硫黄**

21.0×8.5×6.0cm  
吉川麻太郎商店製(大阪市東区船越町二丁目)。500g入り。「16.12.9」の日付スタンプあり。



1-2-1(73)

**信管キャップ**

5.9×5.9×10.4cm



1-2-2(234)

**七耗七機銃薬莢の素材**

3.8×3.8×0.6cm  
この素材を圧填し、薬莢を作り出す。



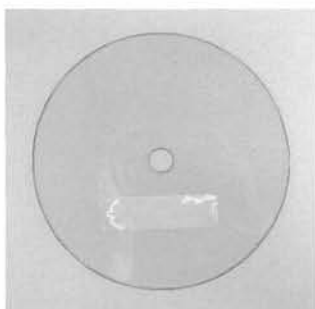
1-2-2(232)



**二十五耗機銃薬莢の素材**

7.4×7.4×1.0cm  
この素材を圧填し薬莢を作り出す。

1-3-1(847)



**光学レンズ**

16.0×16.0×0.5cm, 2点

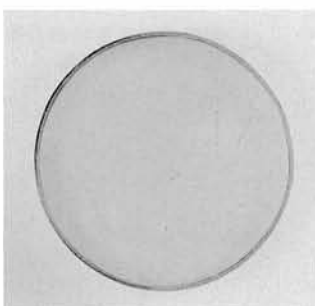
1-2-2(636)



**七耗七機銃薬莢の素材板**

36.7×50.0×0.1cm

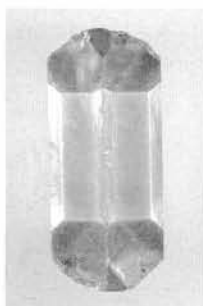
1-3-1(846)



**光学レンズ**

7.0×7.0×1.5cm

1-3-1(298)



**光学プリズム**

3.3×3.3×7.8cm

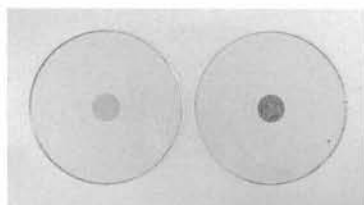
1-3-1(845)



**光学レンズ**

2.3×2.3×1.0cm

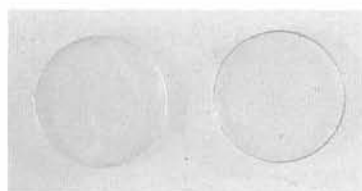
1-3-1(116)



**光学レンズ**

13.3×13.3×0.6cm, 2点

1-3-1(323)



**光学レンズ**

2.4×2.4×0.5cm, 2点

1-3-1(131)



**光学レンズ**

3.7×3.7×0.7cm

1-3-1(324)



**光学レンズ**

5.3×5.3×0.3cm, 2点



1-3-1(341)

光学レンズ

9.1×9.1×1.3cm



1-3-1(307)

潜望鏡用レンズ

5.0×5.0×3.2cm



1-3-1(849)

潜望鏡用レンズ

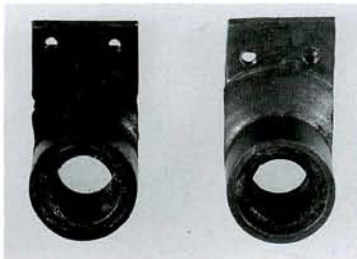
2.8×2.8×1.3cm



1-3-1(538, 642)

7倍双眼鏡

17.5×20.0×6.5cm, 2点  
ケース入り。



1-3-1(851)

潜望鏡用レンズ

3.2×1.9×2.5cm, 2点



1-3-1(539)

磁気羅針儀

7.3×6.5×2.5cm



1-3-1(848)

潜望鏡用レンズ

3.8×3.8×3.2cm



1-3-1(540)

磁気羅針儀

7.7×5.3×1.9cm



1-3-1(850)

潜望鏡用レンズ

3.2×3.2×1.6cm, 2点



1-3-2(552)

レンズ原料

12.0×21.0×19.5cm

備 品 類

---

2-1-1(71)

銃身洗浄ブラシ

15.4cm(全長)、2点



2-1-2(266)

滑車

10.9×10.0×23.2cm  
木工場で使用されていたものという。



2-1-1(620)

ばね秤

12.4cm(全長)、23点



2-1-2(267)

神棚

29.0×72.0×55.0cm  
木工場で使用されたものという。  
中に今上天皇の御影(絵)あり。



2-1-1(209)

タップ

①9.6×5.1×1.7cm②10.6×6.0×2.0cm③10.8×6.1×2.3cm④14.5×6.8×2.4cm、いずれも収納箱の寸法、4点  
①②③収納箱の蓋の表面に鋸マークと「中央統制工具」とある。④収納箱の蓋に⊗の焼印、「MICROMETER MITUTOYO Tokyo, Japan」とある。



2-1-2(265)

鉄兜

27.5×25.0×13.8cm  
工員が使用したもの。表面に「木 21」と記されている。



2-1-1(621)

ライフリング検査鏡

8.4cm(全長)、28点  
機銃の銃身の中を、鏡を利用して検査する道具。



2-1-4(704)

九六式二十五耗機銃二型  
補用銃身格納筐

155.5×19.7×26.8cm



2-1-2(268)

糸巻

40.0×7.3×2.4cm



2-2-1(635)

上皿天秤

7.0×18.5×14.5cm  
分銅収納箱あり。上皿天秤に「二装」とペン書きされる。分銅収納箱の蓋の裏に「第二装填工場」の押印がある。分銅:50g1個、20g1個、10g2個、5g1個、2g2個、1g1個。



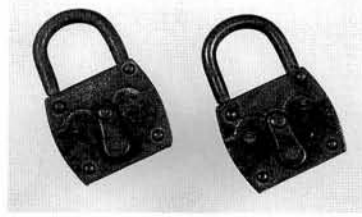
2-2-1(382)



**耐火煉瓦**

①10.5×21.7×6.8cm②9.7×21.0×6.2cm、2点  
曳光薬燃焼テスト用の耐火煉瓦という。

2-2-2(339,340)



**錠**

①11.0×6.5×2.0cm、②11.5×7.6×1.8cm(2点)、3点  
火薬庫で使用したものという。

2-2-1(147)



**鉄切鋏**

27.0×5.5cm  
把手にあるくぼみは、火工部の工場において爆弾の破片があたったものという。

2-2-2(321)



**信管ケース**

①4.5×4.5×6.0cm②5.0×5.0×5.5cm、2点  
①の側面に錨マークがついている。

2-2-1(326,336)



**銅製網**

2点  
火薬粉末の篩いに用いたという。

2-2-2(514)



**信管ケース**

5.5×5.5×12.9cm、2点

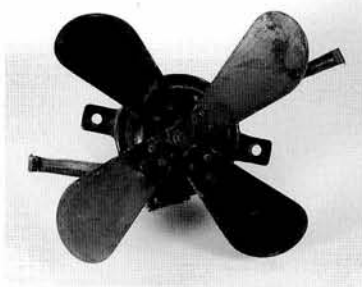
2-2-1(302)



**鉄**

32.0cm(全長)  
機械弾薬包の焼夷弾の原料の黄燐をつかむのに使用したものという。

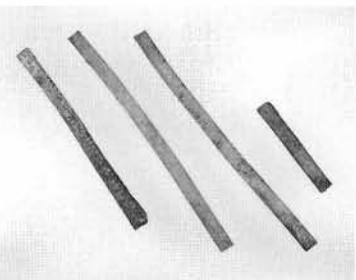
2-2-2(346)



**扇風機**

30.3×30.3×16.5cm  
雷求製作工程の冷却用に使用したものという。

2-2-1(308,352)



**ハンダ**

①14.0cm②29.8cm③36.2cm④36.9cm(全長)、4点  
弾薬包を封印するのに用いたという。

2-2-2(467)



**楯「優 修動精励 第四信管工場」**

46.6×25.1×2.9cm



2-2-2(318,386)



弾薬包表示ラベル

17.7×45.2cm, 17点

2-2-4(693)



九一式時限信管改一収納箱

20.3×47.7×24.3cm  
蓋の上面に「昭和二十年 九一式時限信管改一 二十個 豊川海軍工廠」と記されている。

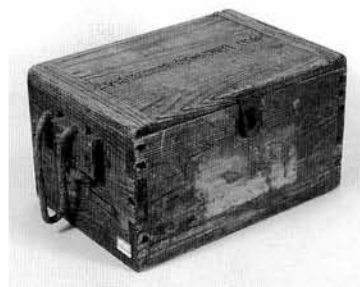
2-2-2(297)



ツルハシ

80.8×59.3cm  
柄に「第一信管工場」の焼印あり。

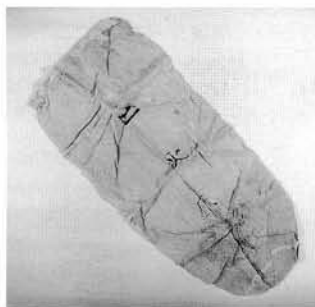
2-2-4(694)



九七式二号弾頭発火装置二型改一収納箱

22.0×34.9×18.5cm  
蓋の上面に「九七式二号弾頭発火装置二型改一(六発入)」と記されている。

2-2-2(300,334,383)



布袋

①75.0×31.0cm, ②116.0×45.0cm, ③63.0×20.0cm, ④72.0×31.0cm, 4点  
爆薬・装薬を入れる袋として使用されたという。

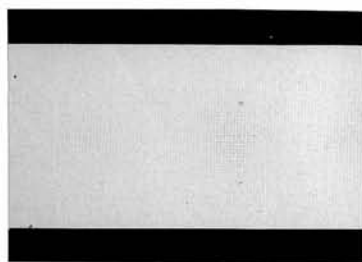
2-2-4(290)



十三耗機銃弾薬箱

26.4×54.0×22.8cm  
内面が鉛板で覆われる。ドイツ製という。

2-2-2(288)



普通弾薬包表示ラベル

9.5×13.3×1.0cm

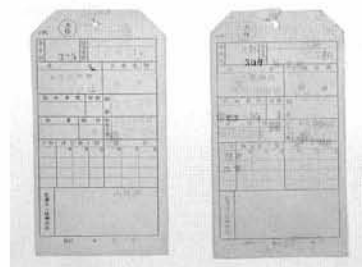
2-2-4(513)



信管収納箱の仕切り

①17.0×41.7×5.2cm②16.8×41.5×12.4cm, 2点

2-2-3(150)



十三耗機銃曳跟弾薬包注文票

16.4×8.8cm, 2点

2-2-4(360)



二十五耗機銃演習弾薬包収納箱

28.5×52.8×23.2cm  
蓋の表面に「二十五耗機銃 演習弾薬包 四十個 表 呉海軍工廠」と記されている。

2-2-4(292)



**二十五耗機銃着発信管一型収納箱**

24.1×32.8×10.2cm

蓋の表面に「二十五耗機銃 着発信管一型 八十個 注意 取扱或ハ貯蔵中共決シテ筐底ヲ上又ハ横ニスベカラス」と記されている。

2-2-4(515)



**八八式信管四型収納箱**

20.5×48.1×21.3cm

蓋の表面に「昭和二十年 月 八 八式信管四型 十個 豊川海軍工廠」と記されている。

2-2-4(44)



**二十五耗機銃着発信管四型収納箱**

32.5×23.8×9.6cm

蓋の表面に「二十五耗機銃 着発信管四型 八十個 注意 取扱或ハ貯蔵中共決シテ筐底ヲ上又ハ横ニスベカラス」と記されている。

2-3-2(401)



**光学部事務所看板**

138.7×36.0×4.5cm

裏面に「昭和十七年五月八日 新築移転式 海軍大佐出石寛二書」の墨書あり。

2-2-4(293)



**二十五耗機銃着発信管四型収納箱**

29.5×24.0×10.0cm

蓋の表面に「昭和十九年七月 二十五耗機銃着発信管四型 八十個 豊川海軍工廠」と記されている。

2-4-3(402)

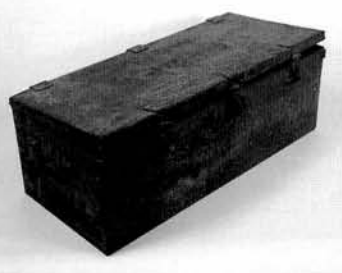


**指揮兵器部委託工事帳簿**

30.3×22.4cm

398ページ。未使用。

2-2-4(622)

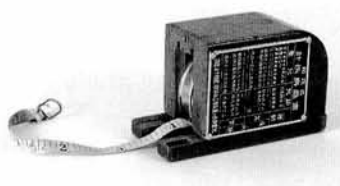


**二十五耗二連装銃架要具格納筐**

29.3×67.0×23.5cm

蓋の表面に「二十五耗二連装銃架要具格納筐 豊川海軍工廠」と記されている。

2-5-2(144)



**福垣式家庭身長計**

4.1×9.5×5.9cm

2-2-4(164,480,770)



**八八式信管二型収納箱**

20.3×48.0×21.2cm, 3点

蓋の表面に「昭和十九年 月 八 八式信管二型 十個 豊川海軍工廠」と記されている。

2-5-2(713)



**海軍共済組合病院体温計**

12.2cm(全長)



2-5-2(482)

豊川海軍共済病院看板

59.7×18.9×3.0cm



2-5-2(517)

貯水桶

61.0×61.0×63.0cm  
側面に「病院 防火隊」と記されている。



2-5-2(140)

顕微鏡

24.5×22.3×37.8cm  
オリンパス製。



2-5-2(141)

天秤

38.7×29.6×49.3cm  
ガラスケース入りの天秤。



2-5-2(143)

佐藤式骨髓内輸血器

9.2×13.8×4.5cm(収納箱の寸法)  
昭和19年1月、松永商店製。



2-5-2(139)

豊川海軍共済病院幕

277.0×343.0cm



2-5-2(142)

扇風機

22.0×34.0×52.0cm  
日立製。



2-5-2(110)

包帯

①5.5×5.5×15.0cm②5.5×5.5×20.5cm、2点  
包装紙に梱包されている。



2-5-2(111)

脱脂綿

5.8×16.0×5.8cm  
紙箱入り。純正舎製造。



2-5-3(106)

共済病院使用各種印鑑及び収納箱

23.9×19.0×8.5cm(収納箱の寸法)  
各種印鑑が40個入っている。蓋の内側に「豊川海軍共済病院」の押印がある。

2-5-3(107)



**共済病院使用各種印鑑及び収納箱**

16.3×12.8×8.2cm(収納箱の寸法)  
各種印鑑が14個入っている。蓋の内側に「豊川海軍共済病院」の押印がある。

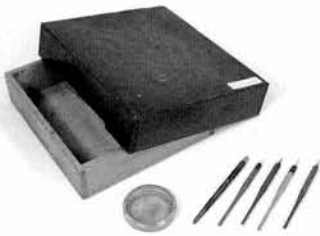
2-6-2(651)



**電話機**

15.3×18.0×14.5cm  
工員養成所使用品。NEC製。

2-5-3(108)



**共済病院使用筆記具及び収納箱**

34.0×30.3×7.8cm(収納箱の寸法)  
蓋の内側に「豊川海軍共済病院」の押印、「庶務係」の墨書あり。筆記具は、鉄筆4本、ガラスペン1本、シャーレ1個。

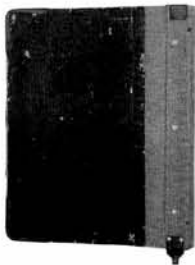
2-6-2(511)



**木刀**

101.0cm(全長)  
工員養成所使用品。「工員養成所」の焼印がある。

2-5-3(130)



**バインダー**

28.6×22.7cm  
内側に「愛知県宝飯郡豊川町 豊川海軍共済組合病院」と印刷された紙が貼られ、「豊川共病庶務」の墨書がある。

2-6-2(650)



**喇叭**

29.5cm(全長)  
工員養成所使用品。

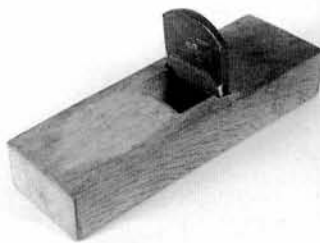
2-5-3(32)



**封筒(豊川海軍共済病院)**

27.0×10.6cm, 2点  
裏面に「愛知県豊川市 豊川海軍共済病院 昭和 年 月 日」と印刷されている。

2-7-2(595)



**鉦**

17.4×5.6×3.0cm

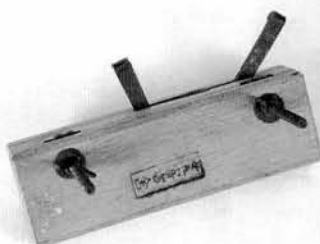
2-6-2(510)



**基盤**

41.5×45.0×1.8cm  
工員養成所寄宿舎使用品。裏面に「第七拾九号」の墨書、「養成所寄宿舎」の焼印がある。

2-7-2(593)

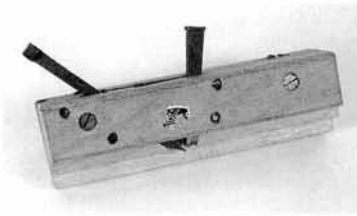


**小孔扶き鉦**

17.8×5.8×4.2cm  
「女五寄宿舎」の焼印がある。



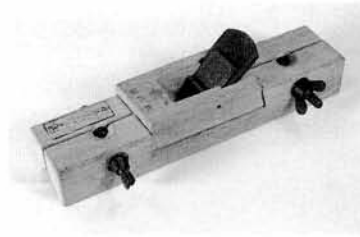
2-7-2(592)



小孔抜き鉋

19.5×5.9×4.1cm

2-7-2(594)

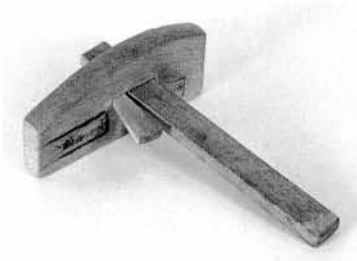


面取り鉋

20.4×4.5×3.6cm

「女五寄宿舍」の焼印がある。

2-7-2(590)

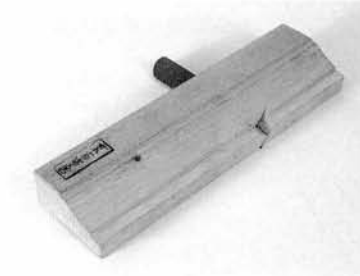


筋罫引

17.9×12.3×5.8cm

「女五寄宿舍」の焼印がある。

2-7-2(596,597)



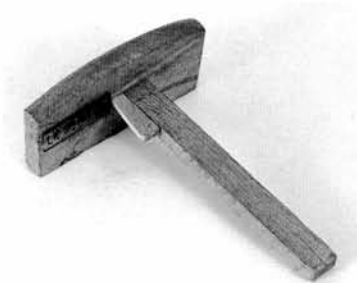
わき取り鉋

25.3×6.8×3.3cm, 2点

・「女五寄宿舍」の焼印がある。[596]

・「女十寄宿舍」の焼印がある。[597]

2-7-2(591)



筋罫引

17.6×11.5×5.3cm

「女七寄宿舍」の焼印がある。

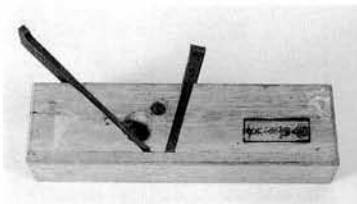
2-7-2(589)



筋罫引

20.5×18.4×6.2cm

2-7-2(598)



相挟り鉋

19.9×5.8×3.2cm

「女五寄宿舍」の焼印がある。

2-7-4(758)

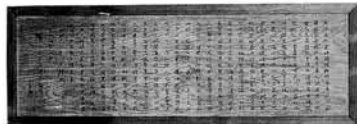


裁縫箱

18.7×29.0×23.0cm

内面に「第三十五寮」と墨書されている。

2-7-2(518)



扁額

160.0×56.5cm

寄宿舍の舎監をしていた寄贈者の祖父の自書。第六女子従業員寄宿舍で掲示されていたという。

2-8-1(72)



カッター

36.0×36.0cm, 3点

朝日化学製。

2-8-1(269)



**カッター**

23.0×18.0cm  
機銃ケースの帆布のカッターという。

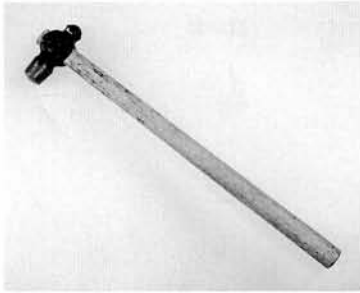
2-8-1(270)



**糸**

7.0×5.8×2.3cm  
25m巻き。機銃ケース用に使用するものという。

2-8-1(619)



**金槌**

52.0×6.5cm, 2点

2-8-1(31)



**除湿器**

26.5×26.5×22.7cm

2-8-1(277)



**鉋**

27.0×8.4×2.8cm

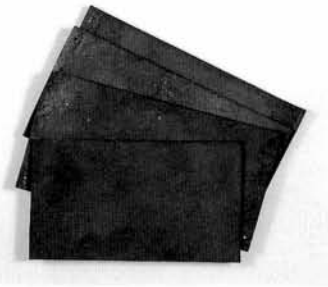
2-8-1(347)



**ダイヤルインチケータ**

11.3×25.6×5.5cm(収納箱寸法)

2-8-1(357)



**牛革**

11.8×23.5cm, 4点

2-8-1(301)



**導火線**

11点  
水陸両用の導火線という。

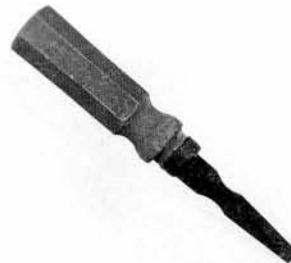
2-8-1(70)



**工具**

24.1×13.9×2.7cm(収納箱の寸法)  
収納箱の蓋の表面に、「四号螺絲匣」とある。

2-8-1(376)



**ドライバー**

15.5cm(全長)

2-8-1(612)

ドライバー

15.7cm(全長)、92点

2-8-1(378,617)

ドライバー

19.0cm(全長)、5点

2-8-1(613)

ドライバー

18.8cm(全長)、29点

2-8-1(271)

縫い針

17.3cm(全長)  
機械ケース用の縫い針という。

2-8-1(375,614)

ドライバー

26.3cm(全長)、32点

2-8-1(272)

縫い針受

6.0×9.4×3.0cm

2-8-1(615)

ドライバー

16.0cm(全長)、18点

2-8-1(553)

ハンマー

7.6×21.5×7.5cm  
柄を欠損。

2-8-1(616)

ドライバー

15.8cm(全長)、4点

2-8-1(354)

ビーカー

8.0×8.6×8.9cm



2-8-1(273)



**太針**

15.2cm(全長)  
ロープ処理用に用いたという。

2-8-1(353)



**薬品瓶**

10.0×10.0×20.0cm

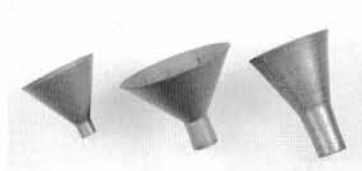
2-8-1(355)



**フラスコ**

11.0×11.0×20.5cm, 2点

2-8-1(356)



**漏斗**

①5.7×5.7×8.0cm②8.0×8.0×5.7cm③5.5×5.5×4.8cm, 3点

2-8-1(27)



**分銅**

5点  
50g(2点)、100g、200g、500gの計5点。

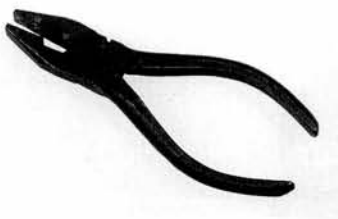
2-8-2(69)



**朝日乾電池**

4.5×9.5×13.5cm, 2点  
朝日乾電池株式会社製。電鈴用。3ボルト。

2-8-1(618)



**ペンチ**

14.9×5.0cm

2-8-2(358)



**麻袋**

110.0×89.0cm, 2点  
表面に「横須賀軍需部」と記されている。

2-8-1(377)



**木製ハンマー**

①28.5×15.0×4.9cm②6.2×10.6×6.2cm, 2点  
②は柄を欠損する。

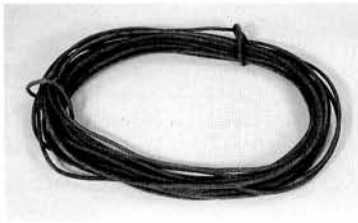
2-8-2(291)



**椅子**

43.8×41.7×86.7cm  
「総務部」の刻印あり。

2-8-2(294)



屋内用電線

2-8-2(276)



革帯

6.5×96.0cm  
機銃の銃把を防護するのに用いたという。

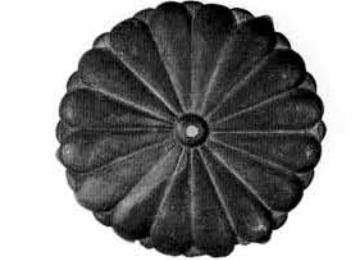
2-8-2(366)



押しボタン

6.2×6.2×2.5cm

2-8-2(214)



菊花紋章

14.8×15.7×1.8cm  
工廠神社に使用された菊花紋章。裏面に「昭和二十年八月十四日田豊川海軍工廠工廠神社御紋章」と書かれた和紙が貼られている。

2-8-2(299)



碍子止電線

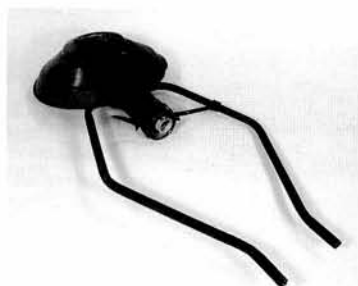
2-8-2(639)



携帯電話機

12.5×27.0×24.5cm、2点  
千両にあった海軍工廠の付属施設で使用したものであるという。

2-8-2(512)



街路灯

66.0cm(全長)  
工廠跡地での採集品。

2-8-2(653)



顕微鏡

19.0×13.0×31.8cm

2-8-2(368)



錠

①18.0×6.8cm②13.0×5.0cm③  
10.5×4.7cm、8点  
①5個、②2個、③1個

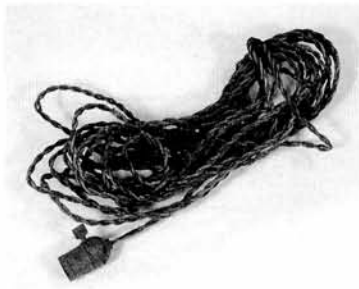
2-8-2(338)



交流電力鈴

30.3×15.0×8.2cm  
松下電器株式会社製。

2-8-2(551)



コード

2-8-2(133)



消防用管槍

26.3×26.3×12.7cm

2-8-2(322,370)



コンペアー用ベルト

2点

2-8-2(146)



消防用管槍

14.5×15.0×77.5cm

「豊廠警防 五号車」と記されている。

2-8-2(379)



敷物

57.0×30.0cm

2-8-2(319)



照明器具カバー

25.2×25.2×12.0cm, 4点

2-8-2(380)

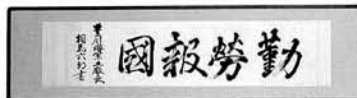


敷物収納袋

28.3×48.0cm

固有番号379の収納袋。

2-8-2(415)

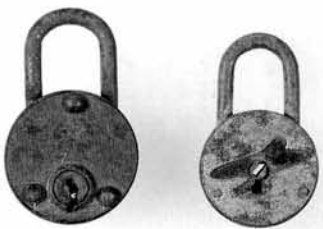


相馬六郎工廠長自作書

45.0×175.0cm(額寸)

書面「勤勞報國 豊川海軍工廠長 相馬六郎書」

2-8-2(369)



錠

①7.3×4.3×1.4cm②6.5×3.9×1.2cm, 2点

2-8-2(628)



相馬六郎工廠長自作書

92.0×175.0cm(額寸)

高見町に工員住宅ができたが、浴室がなかったため工員側から銭湯建設の要望があり、寄贈者の父が「玉の湯」をはじめたという(昭和16年頃)。それに対し相馬工廠長より贈られたものという。



2-8-2(199)



机

40.7×64.0×40.5cm

2-8-2(489)



電灯傘

22.2×22.5×4.9cm

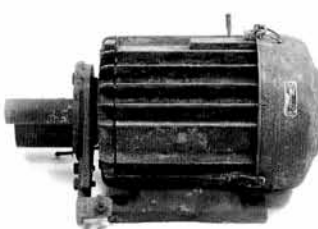
2-8-2(381)



机

42.0×73.0×57.8cm

2-8-2(362)



電動機

30.0×50.0×30.0cm

2-8-2(418)



鉄筋

45.2×19.3×4.9cm  
工廠跡地での採集品。

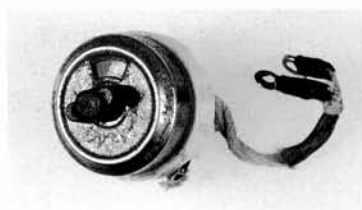
2-8-2(706)



電波受信機

21.7×45.0×25.0cm  
寄贈者が中古屋から購入したもの。  
中古屋によれば、工廠で使用していたものという。

2-8-2(365)



電気スイッチ

6.2×6.2×5.5cm  
マツダ製。

2-8-2(707)



電波受信機

26.7×51.4×29.3cm  
寄贈者が中古屋から購入したもの。  
中古屋によれば、工廠で使用していたものという。寄贈者によりかなり改修されており、表面も塗装されている。

2-8-2(327)



電気スタンド

13.5×13.5×47.0cm  
ソケット部が陶製の代用品である。

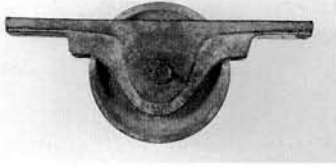
2-8-2(337)



電話機

17.5×15.0×15.0cm  
日本電気株式会社製。

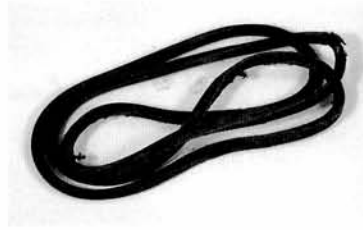
2-8-2(371)



戸車

4.1×9.1×1.8cm

2-8-2(363)



ベルト

98.0cm(全長)

2-8-2(342)



布製バケツ

27.0×27.0×30.0cm

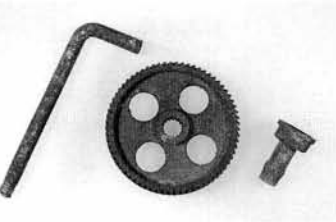
2-8-2(284)



盆

36.4×36.4×2.5cm  
裏面に「豊川海軍工廠 報国団」とある。

2-8-2(374)



歯車など

11.0×11.0×1.3cm(歯車)、3点

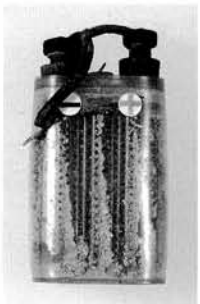
2-8-2(68)



マイクロホン

12.8×12.8×36.4cm  
裏側に「NATIONAL」とある。

2-8-2(335)



バッテリー

8.8×5.7×2.9cm  
分析用のバッテリーという。

2-8-2(417)



煉瓦

①10.2×22.0×7.3cm②9.8×  
21.0×6.9cm、2点  
工廠跡地での採集品。

2-8-2(289,372)



避雷針

16.5cm(全長)、3点

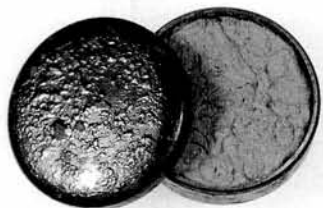
2-8-3(351)



印刷用活字

10.2×16.0×4.9cm(収納箱寸法)

2-8-3(84)



印肉

6.0×6.0×2.3cm

2-8-3(329)



消耗品払出表

18.1×25.8cm, 30点  
未使用品。

2-8-3(287)



折尺

1.5×100.0cm

2-8-3(328)



受注記録紙

18.1×25.7cm, 11点  
未使用品。

2-8-3(333)



カーボン紙

23.6×32.8cm, 2点

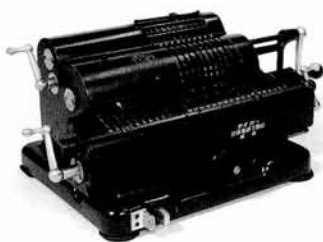
2-8-3(332)



製図用具

7点  
万年筆、カラス口、コンパス(2点)、  
小刀付定規、消しゴム、鹿革がある。

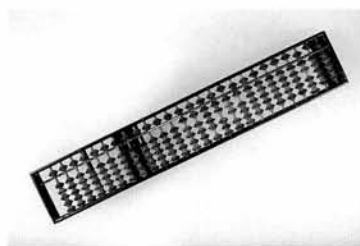
2-8-3(40)



計算機

17.7×38.5×13.2cm  
タイガー計算器株式会社製。

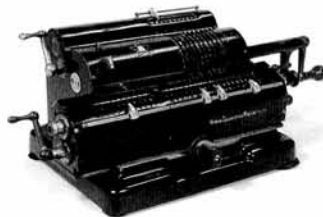
2-8-3(132,198,472)



算盤

①6.8×38.6×2.0cm、②6.7×  
39.0×2.0cm、③6.4×30.4×2.0  
cm, 3点  
①側面に「豊川海軍工廠」、裏面に「測  
器役」と刻まれている。【132】  
②側面に「豊川海軍工廠会計部」と  
刻まれている。【198】  
③側面に「豊川海軍工廠」のペン書  
きがある。【472】

2-8-3(145)



計算機

15.6×37.0×12.4cm  
日本計算器製。

2-8-3(605)



バインダー

28.7×23.2cm

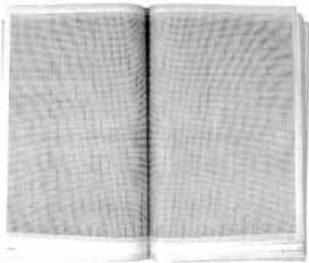
2-8-3(112,306,385)



**封筒(海軍)**

33.0×24.1cm, 8点  
裏面に赤字で「海軍」と印刷。

2-8-3(331)



**方眼紙**

27.3×36.4cm, 39点  
未使用品。

2-8-3(330)



**民間委託表**

18.1×25.6cm, 4点  
未使用品。

2-8-4(384)



**一斗缶**

24.2×24.2×35.0cm, 2点  
側面に錨マークあり。

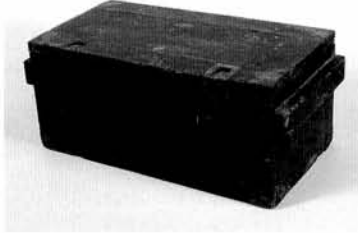
2-8-4(295)



**火薬収納缶**

21.0×21.0×73.2cm

2-8-4(42,43,47,65,66,67,77,296,309,310,320,325,343,344,359,361,364,483,484,516,548,549,550,600,608,640,771)



**木箱**

27点

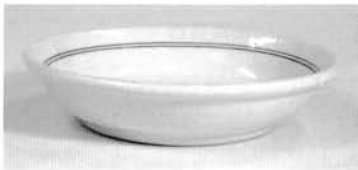
2-8-4(599)



**非常持出函**

29.7×64.5×30.8cm  
蓋の表面に「第壹号 非常持出函 第二女子学徒寮」と記される。

2-8-5(45,403,469,559)



**海軍食器**

19.6×19.6×4.5cm, 5点  
陶製。見込み部に錨マークあり。底部に「岐1.065」の文字あり。

2-8-5(470,481,558,749)



**海軍食器**

13.0×13.0×7.2cm, 8点  
陶製。側面に錨マークあり。底部に「岐1.065」の文字あり。

2-8-5(485)



**海軍食器**

15.2×15.2×7.5cm, 15点  
陶製。底部に「岐1.065」の文字あり。



2-8-5(274,561)



**海軍食器**

16.3×16.3×8.0cm, 3点  
陶製。

2-8-5(30,75,610)



**海軍食器**

15.0×15.0×5.0cm, 3点  
珐瑯製。底部に錨マークあり。

2-8-5(471)



**海軍食器**

8.4×8.4×2.0cm  
陶製。底部に「岐610」の文字あり。

2-8-5(76)



**海軍食器**

11.0×11.0×5.0cm  
珐瑯製。底部に錨マークあり。

2-8-5(486)



**海軍食器**

18.5×18.5×3.0cm, 20点  
陶製。底部に「岐1,065」の文字あり。

2-8-5(275)



**食器**

12.2×3.7cm, 2点  
鉄製。

2-8-5(560)



**海軍食器**

19.6×19.6×4.5cm, 2点  
陶製。底部に「岐1,065」の文字あり。

2-8-5(611)



**食器**

31.8×41.5×2.3cm

2-8-5(29,74,609,645)



**海軍食器**

16.5×16.5×5.5cm, 5点  
珐瑯製。底部に錨マークあり。

2-8-5(373)



**弁当箱**

①17.0×11.0×5.5cm②12.5×8.5×3.0cm, 2点  
①蓋の表面と身の底部に「横須賀購買所」の文字あり。



**弁当箱**

17.5×11.5×6.0cm. 2点

①蓋表面に「豊.882」、蓋側面に錨マークがある。身側面に「882」「豊」と錨マークがある。②蓋表面に「豊1128」、側面に錨マークがある。身側面に「豊」「266」錨マークがある。内部小分け箱側面に「豊」「1168」とある。

記 録 資 料

---



3-1-1(123)



**共済病院浜名湖保養所平面図(写)**

11.5×21.5cm  
セロファンシート製。

3-1-1(601)



**豊川海軍工廠工場配置図**

124.5×122.9cm  
青焼図面。「豊川海軍工廠施設図面集」(平成12年 桜ヶ丘ミュージアム発行)所載。裏面に、ペン書きで「構内建物並蒸気、瓦斯管之図」と記されている。工廠が最も拡充・整備された時期のものであり、工場だけでなく便所や自転車置き場まで細かく描かれ、また海軍共済病院・工員養成所・寄宿舎など工廠に近在する関連施設も描かれている。疎開を完了及び予定した工場を色別で示している。

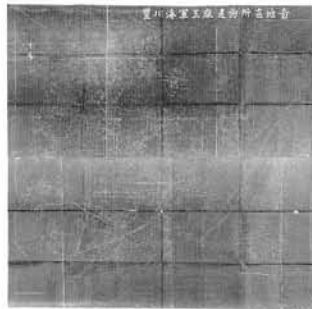
3-1-1(57)



**工員寄宿舎一覧表(写)**

39.5×198.0cm  
第1・2・3・6・7・8・9・14男子工員寄宿舎、第1・2・3・4・7・8・9・10・11・12・13女子工員寄宿舎、第1・2女子学徒寮、第1・2男子学徒寮、通信学校について記されている。

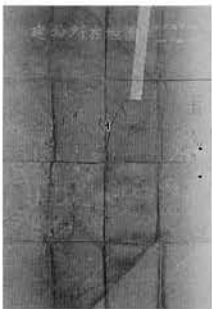
3-1-1(95)



**豊川海軍工廠建物所在地図**

149.5×153.0cm  
青焼図面。「豊川海軍工廠施設図面集」(平成12年 桜ヶ丘ミュージアム発行)所載。裏面に「豊川海軍工廠内外建物所在地図(建物名称、リスト無キモノ)20-8-31」と墨書される。工廠を中心に、北は現在の千両町、南は牛久保町、東は麻生田町、西は八幡町付近まで描かれており、北東部は宝飯郡一宮町も含まれる。工廠だけでなく、周辺に存在した関連施設・疎開工場の位置や施設名も知ることができる。図面の右端中央には、一宮町豊津に設置された工廠の水道の水源地が別枠で描かれている。

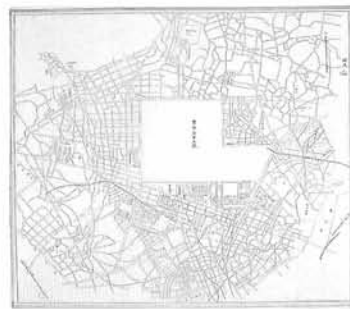
3-1-1(99.100)



**建物所在地図**

114.0×79.0cm, 2点  
青焼図面。豊川海軍工廠周辺の関連施設が簡略的に描かれている。・警察官・警備員・警防団の配置が赤書きで記されている。[100]

3-1-1(58)



**豊川海軍工廠付近関係施設図面(写)**

88.0×101.0cm  
工廠周辺の関係施設を図示したものの、工廠本体の部分は施設が描かれていない。

3-1-1(96)



**建物所在地図 第一図**

156.5×205.5cm  
青焼図面。「豊川海軍工廠施設図面集」(平成12年 桜ヶ丘ミュージアム発行)所載。防衛研究所蔵の豊川海軍工廠引渡目録にある建物調書の添付図面と同じものである。裏面には、墨書で「豊川工廠構内建物配置図及び建物リスト及近郊疎開工場地図 20-8-31」と記されている。工廠本体の図では、空襲後も使用可能な建物、及び木造で半壊或いは鉄骨で全壊した建物が描かれている。其ノ

二では工廠周辺に存在した関連施設を、其ノ三では豊橋市伊古部町にあった海岸発射場の位置を示してあり、それぞれの施設の建物配置を別枠で描いている。各施設について、表で建物名称・建物総面積・収容人員・戦災の有無をまとめてある。

3-1-1(215)



**兵器弾薬爆発物機械器具所在地図**

82.7×168.5cm  
青焼図面。固有番号97と内容が同じものである。「20-8-31」と目付が記されている。工廠の兵器、弾薬、爆発物、機械、器具の所在位置を示したもので、豊川近辺の他に、三河・遠江地域や長野県についても示されている。

3-1-1(98)



**建物所在地図 第二図**

80.4×158.7cm  
青焼図面。「豊川海軍工廠施設図面集」(平成12年 桜ヶ丘ミュージアム発行)所載。防衛研究所蔵の豊川海軍工廠引渡目録にある建物調書の添付図面とほぼ同じものである。裏面には墨書で「遠隔地疎開工場建物 20.8.31」と記されている。榎原(愛知県麻太町)、中部天竜・下諏訪・天竜峡・箱山(長野県)に疎開した工場が描かれている。

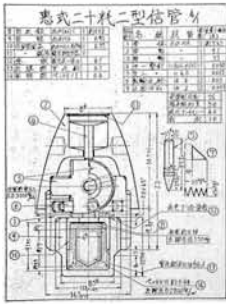
3-1-1(97)



**兵器、弾薬、爆発物、機械、器具所在地図**

83.0×168.4cm  
青焼図面。「豊川海軍工廠施設図面集」(平成12年 桜ヶ丘ミュージアム発行)所載。防衛研究所蔵の豊川海軍工廠引渡目録にある兵器調書、弾薬・爆発物調書、機械調書、器具調書の添付図面と同じものである。工廠の兵器、弾薬、爆発物、機械、器具の所在位置を示したもので、豊川近辺の他に、三河・遠江地域や長野県についても示されている。

3-1-2(187)



惠式二十耗二型信管図面(写)

25.8×18.0cm

3-1-2(188)



十三耗機銃各種弾薬包図面(写)

25.8×18.0cm

3-1-2(449)



各種器具図面

25.5×17.9cm  
5ページ。

3-1-2(391)



九三式(三式)十三耗機銃  
薬莖雷管圧填作業要領

25.9×18.3cm  
45ページ。

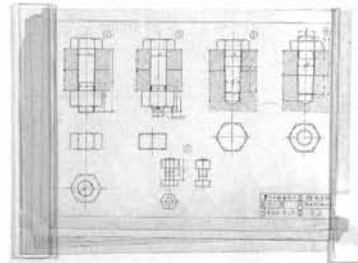
3-1-2(450)



各種旋削用バイトの標準  
取付位置

25.5×18.1cm

3-1-2(456)

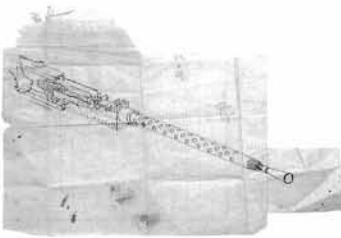


製図原稿

25.6×36.0cm (6枚), 20.9×29.7  
cm (1枚), 7点

工具養成所において寄贈者が製図  
したものと、ボルト・ナット・横軸  
受などの製図原稿(5枚)、製図する  
際の寸法の記入方法の正誤図(2枚)。

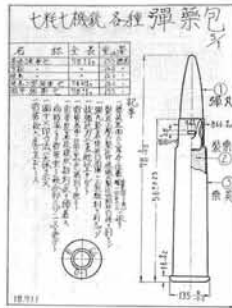
3-1-2(531)



機銃模式図

15.8×23.3cm  
墜落したB29の機銃の形をまねて  
新型の機銃を設計しようとした時の  
図面という。

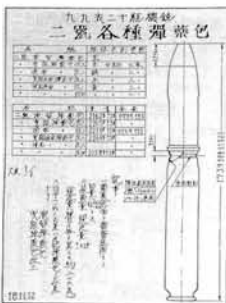
3-1-2(185)



七耗七機銃各種弾薬包図  
面(写)

25.8×18.0cm

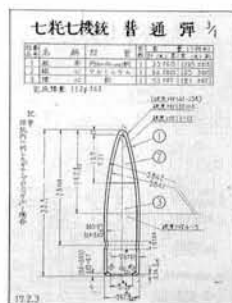
3-1-2(190)



九九式二十耗機銃二号各  
種弾薬包図面(写)

25.8×18.0cm

3-1-2(186)



七耗七機銃普通弾図面(写)

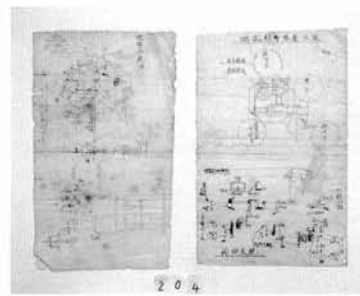
25.8×18.0cm



3-1-2(390)

二十五耗機銃火管雷管圧填作業要領

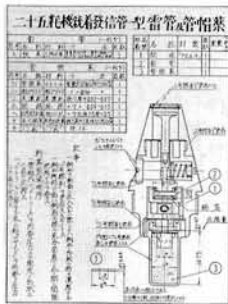
25.8×18.1cm  
48ページ。



3-1-2(204)

四式射撃装置二型図面

①17.4×28.5cm、②28.3×18.0cm、  
2点



3-1-2(192)

二十五耗機銃着発信管一型雷管及管帽薬図面(写)

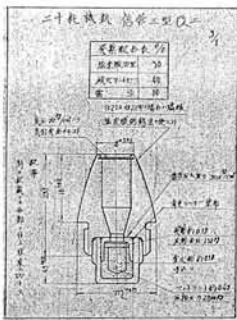
25.8×18.0cm



3-2-1(121)

共済病院医療業務嘱託員履歴書綴

26.5×18.5cm  
共済病院医療業務嘱託員19名分の履歴書綴り。表紙は後補。



3-1-2(191)

二十耗機銃信管三型改二図面(写)

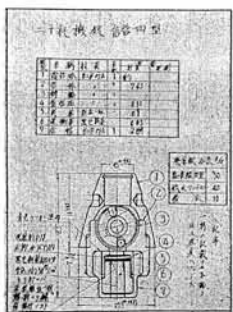
25.8×18.0cm



3-2-1(113)

共済病院看護婦志願者綴

30.9×22.2cm  
共済病院の看護婦生徒志願書の綴。各志願者の、看護婦生徒志願書・成績証明書・身分証明書・戸籍抄本などが綴られている。表紙は後補。



3-1-2(189)

二十耗機銃信管四型図面(写)

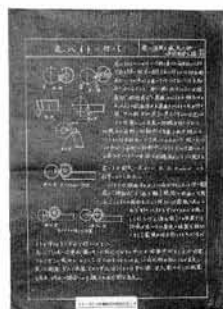
25.8×18.0cm



3-2-1(119)

共済病院看護婦志願者綴

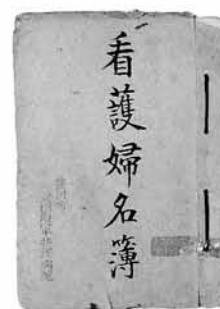
28.0×20.0cm  
共済病院の看護婦生徒志願書の綴り。各志願者の、看護婦生徒志願書・成績証明書・身分証明書・戸籍抄本などが綴られている。表紙は後補。



3-1-2(451)

丸バイトに付いて

36.3×25.7cm



3-2-1(122)

共済病院看護婦名簿

26.2×18.0cm  
共済病院の看護婦19名分の名簿。



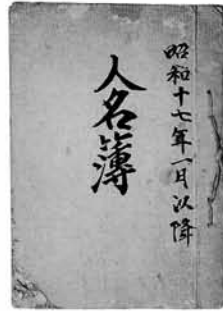
3-2-1(117)



共済病院看護婦履歴書綴

27.8×19.0cm  
共済病院看護婦の18名分の履歴書綴。

3-2-1(534)



人名簿

25.3×18.1cm  
昭和17年1月以降の火工部信管工場の工員名簿。

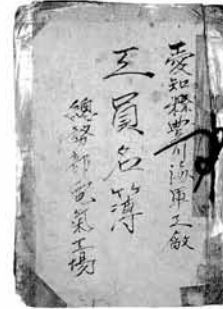
3-2-1(120)



共済病院事務嘱託員履歴書綴

25.5×18.1cm  
共済病院事務員2名分の履歴書綴。表紙は後補。

3-2-1(200)



総務部電気工場工員名簿

27.5×18.7cm  
総務部電気工場工員名簿、空襲等二関ル死没者名簿、空襲等二関ル生死不明者名簿、空襲等二関ル負傷者名簿、舎生名簿、電気工場寮生名簿、寄宿舎退舎名簿などが綴られている。

3-2-1(118)



共済病院雇員傭人履歴書綴

17.7×19.8cm  
共済病院の雇員傭人32名分の履歴書綴。

3-2-1(219)



卓球ノ部名簿 工員養成所

25.5×18.0cm  
表紙に、昭和18年の記載あり。103名分の名簿。

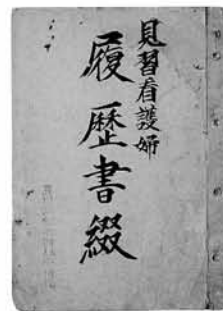
3-2-1(541)



光学部総員名簿

25.8×18.7cm  
昭和20年3月15日調。係・工場別に工員の氏名・官・等級・旧俸・連絡に当たるべき家族の住所・氏名・扶養家族の人数・最寄郵便局などが記される。約2,500人分の名簿。「職員退庁後ノ連絡先」名簿が添付されている。

3-2-1(604)



見習看護婦履歴書綴表紙

26.0×18.7cm

3-2-1(220)



柔道ノ部名簿 工員養成所

25.5×18.2cm  
表紙に昭和18年の記載がある。312名分の名簿。

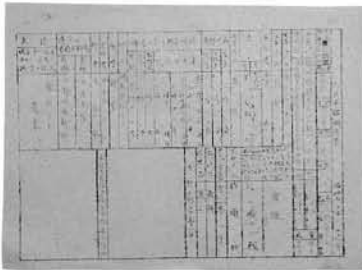
3-2-2(765)



海軍指定在庫品確定註文明細書ノ件送付様式

25.8×18.0cm, 2点  
未使用品。豊川海軍工廠会計部発海軍艦政本部宛文書の様式。

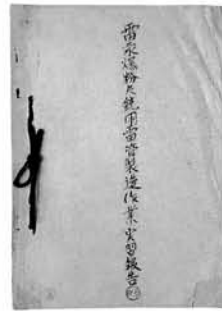
3-2-2(281)



**工員考課調査表**

20.7×28.1cm, 37点  
第二装填工場第四弾薬包班の女子工員37名に対する調査表。日付が昭和19年7月4日と昭和20年4月28日のものがある。氏名・本籍地・現住所から趣味・交際する人物まで様々な項目がある。

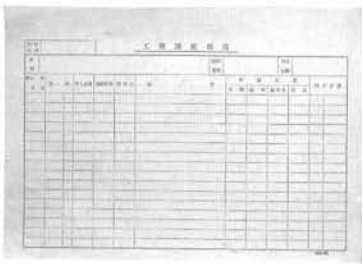
3-2-2(389)



**雷汞爆粉及銃用雷管製造作業実習報告**

25.9×18.3cm  
37ページ。

3-2-2(675)



**工場測範原簿様式**

18.8×25.7cm, 9点  
未使用品。

3-2-3(114)



**共済病院看護婦戦没者履歴書**

27.4×19.7cm  
空襲により戦没した共済病院の看護婦の看護婦生徒志願書・履歴書・学業成績証明書・戸籍抄本などの綴。表紙は後補。

3-2-2(105)



**死亡診断書綴 豊川海軍共済病院**

25.5×18.2cm  
昭和20年1月3日から8月22日までの間における229名の死亡診断書の綴。昭和20年5月19日、8月7日の空襲死亡者の診断書もある。

3-2-3(672)



**機械移動計画書類綴**

25.7×18.2cm  
表紙に「機械移動計画」の墨書がある。裏表紙に「調整工場補助簿」の朱書がある。終戦後の残務整理の書類。

3-2-2(387)



**出張報告**

18.0×25.7cm  
35ページ。裏表紙に「豊嶺火設外秘18第一四八号ノ四」の押印あり。

3-2-3(104)



**共済病院事務引継書類**

29.9×21.5cm  
終戦後の書類。豊川海軍共済病院が昭和20年12月に共済協会本部に提出した引継書類の控。資産負債表及財産目録、収入計算書及同證憑書類(八月分以降)、支出計算書及同證憑書類(八月分以降)、譲渡物品明細書などがある。譲渡物品明細書によれば、昭和20年11月15日付けで、豊川市民病院・舞鶴海軍共済病院・新城町立病院・宝飯国民病院に物品を譲渡(有償)している。表紙は後補。

3-2-2(83)



**薬品取扱上ノ一般常識**

25.6×18.0cm  
昭和18年1月20日、火工部分析工場作成。会計部材料課発行。

3-2-3(392)



**再採用残務整理者名簿**

25.5×35.8cm  
終戦後における残務整理の従事者の名簿。

3-2-3(673)



**雑件綴**

27.5×19.0cm  
終戦後の残務整理の書類。

3-2-3(508)



**LIST OF MATERIALS**

33.0×21.5cm  
昭和20年8月31日付。豊川海軍工廠に残存する材料の数量などをまとめたもの。英文表記。

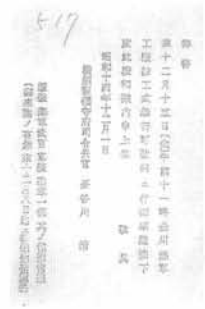
3-2-3(638)



**終戦復員二伴フ工員名簿**

28.8×25.0×7.8cm  
火工部の終戦復員に伴う工員名簿。係・工場別に氏名・給料・送金先住所などが記される。約18,000人分の名簿。表紙に「昭和二十年八月終戦復員二伴フ工員名簿 豊川海軍工廠火工部人事係 記録工長柏原太郎」と記されている。

3-3-1(87)



**豊川海軍工廠竣工式案内はがき**

14.0×9.0cm  
昭和14年12月1日付。横須賀鎮守府司令長官長谷川清より。封筒あり。

3-2-3(407)



**戦死者関係書類並総員名簿  
火工部設計係**

26.5×19.3cm  
火工部設計係の戦死者の葬祭金・給与金・傷害保険・戦死場所に関する書類や名簿が綴られている。

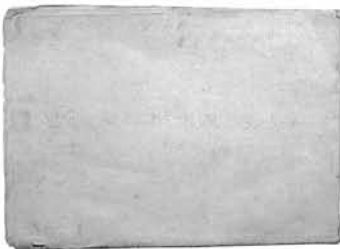
3-3-1(86)



**豊川海軍工廠竣工式次第書**

13.5×31.8cm  
昭和14年12月15日の豊川海軍工廠竣工式の次第書。

3-2-3(679)



**豊川海軍機械調書(使用可能分)**

76.8×109.0cm  
終戦後の残務整理時のもの。

3-3-2(774)



**応徴者赴任心得(豊川)**

27.0×38.3cm  
封筒と履歴書2枚あり。

3-2-3(680)



**豊川工廠附近疎開工場建物調書**

25.8×18.3cm  
終戦後の残務整理の書類。

3-3-2(459)



**採用通知**

14.1×9.1cm  
昭和17年1月付。工員養成所の採用通知。

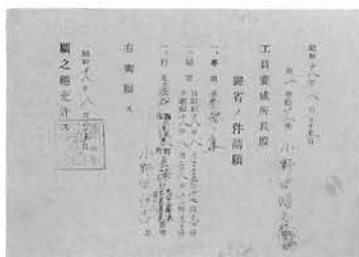
3-3-2(217)



**昭和十九年国民学校修了者赴任心得(追加)**

18.2×25.5cm  
入廠日時、出頭場所などの赴任に関する心得が記載されている。

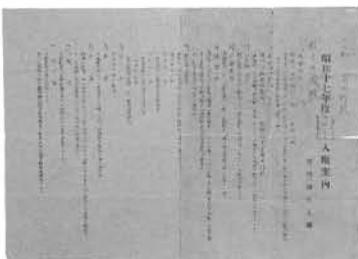
3-3-3(201)



**帰省ノ件請願**

10.5×14.3cm  
昭和18年8月25日付。募参りのため工員養成所長へ帰省を請願した申請書。

3-3-2(460)



**昭和十七年度見習科工員入廠案内**

25.8×36.1cm  
固有番号459の採用通知とセットである。

3-3-3(455)



**見習科第二学年第三学期工場要項試験問題**

26.0×18.4cm  
化学・材工などの試験問題。

3-3-2(408)



**新規徴用工員赴任心得**

17.7×25.5cm  
入廠時の服装や持参する書類など赴任に関する心得が記載されている。

3-3-3(218)



**秋季陸上体育練成大会目録工員養成所**

26.0×18.5cm  
工員養成所における、秋季陸上体育練成大会の目録。大会の次第及び選手名簿が記されている。B4サイズ用紙4枚分。

3-3-2(633)



**徴用解除令書**

18.2×17.0cm  
愛知県知事吉野信次より。昭和18年4月10日をもって徴用を解除することが記されている。

3-3-3(216)



**第四期見習科工員父兄会実施要領**

25.5×18.0cm  
昭和18年10月26日付豊廠第九号ノ五四ノ二、工員養成所長発文書。昭和18年10月27日、28日、29日、30日に実施する第四期見習科工員父兄会の通知文書。

3-3-2(409)



**徴用令書**

18.2×16.8cm  
豊川海軍工廠への徴用令書。愛知県知事相川勝六より。徴用期間は昭和17年1月20日から19年1月31日まで。

3-3-3(221)



**手押唧筒操法**

26.3×18.5cm  
ガリ版刷り、7ページ。



3-3-4(494)



豊廠団報 第四号

37.7×26.5cm  
昭和18年5月1日発行。

3-3-5(530)



寄宿舎生活の予定表

25.5×36.2cm  
鉛筆による手書き。

3-3-4(495)



豊廠団報 第五号

37.7×26.5cm  
昭和18年6月1日発行。

3-3-5(448)



工作機械取扱上ノ禁則

25.5×18.2cm, 2点  
青焼。4ページ。

3-3-4(570)



豊廠団報 第十四号

37.4×26.5cm  
昭和19年3月1日発行。

3-3-5(721)



召集令状受領後入隊迄ノ日課業務予定表(豊川海軍工廠分会)

25.7×18.1cm  
封筒あり。

3-3-4(317)



豊廠団報 第二十三号

37.3×26.5cm  
昭和19年12月1日発行。

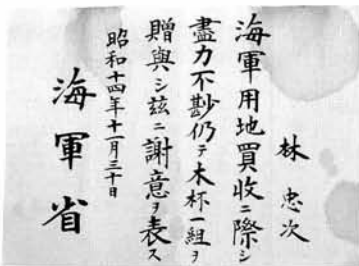
3-3-5(752)



諸加給明細書

30.6×23.6cm  
時間外手当などの時間数を記す明細書。昭和17年12月から昭和18年9月までのもの。

3-3-5(751)



海軍用地買収謝意状

22.5×30.5cm  
昭和14年11月30日付。工廠建設用地の買収に対する海軍省からの謝意状。

3-3-5(345)



超過勤務手当等の工数表

25.1×18.0cm

3-3-5(743)



**帝国在郷軍人会豊川市連合分会発会式祝辞**

18.5×111.5cm

昭和19年3月10日の帝国在郷軍人会豊川市連合分会発会式における、豊川海軍工廠長清水文雄の祝辞。封筒あり。

3-3-5(762)



**名古屋新聞(昭和14年12月15日付)**

26.2×36.7cm

名古屋新聞の昭和14年12月15日付の三河版のページのみ。豊川海軍工廠開庁の記事が掲載されている。

3-3-5(562)

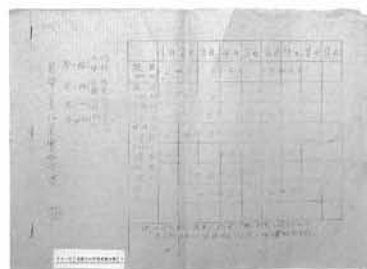


**電話内線表**

5.7×8.3cm

ペン書き。ケース入り。

3-3-5(453)



**見習工員作業実施方案**

26.2×36.7cm

「牧野少尉 18.2.10」の押印あり。

3-3-5(447)

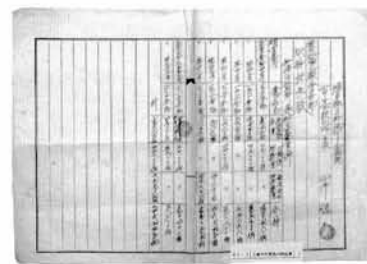


**特別教育資料**

25.0×18.0cm

3ページ。

3-3-5(421)



**無償官給材料納入品数量ノ件**

25.4×36.0cm

山中兄弟鉄工所山中保二より豊川海軍工廠会計部材料課長あて文書。

3-3-5(735)



**豊川町商工会宣言文**

25.5×35.8cm

昭和13年10月26日付。豊川町に隣接して大工場が建設されるのを契機として、町の発展に商工会が一致協力すること、戦時体制下の物価抑制・消費節約などの国策に対して、経営改善・自治的統制を協力して行うことが記されている。

3-3-6(731)

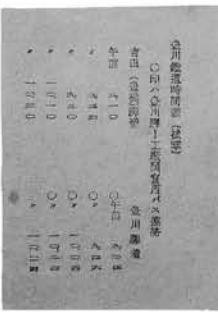


**海軍軍属戦死二関スル件通牒**

17.4×12.4cm

豊学第八一四号、昭和20年11月6日付、豊橋市長発文書。死亡報告書の写しが、豊川海軍工廠長より豊橋市長宛で送付されたことを遺族に通知した文書。「海軍軍属戦死ノ件報告(写)」が添付されている。

3-3-5(89)



**豊川鉄道時間表(抜粋)**

13.5×9.8cm

吉田駅発と豊川駅着の時間が記されている。

3-3-6(730)



**旧豊川海軍工廠戦没者遺体処理打合せ会について**

24.5×35.5cm

豊民第一八七九号、昭和26年5月30日付、豊橋市長発文書。豊川海軍工廠の戦没者の遺体発掘日程(諏訪墓地：昭和26年6月1日～10日、千両墓地：昭和26年6月11日～20日)等を、遺族宛に通知した文書。

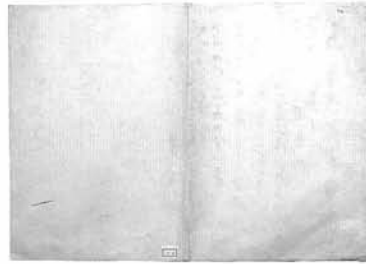
3-3-6(676,734)



**組合貯蓄送付ノ件通知**

17.4×12.4cm、2点  
昭和20年10月の日付がある。豊川海軍工廠会計部給与課発文書。  
・封筒あり。【734】

3-3-6(678)



**メモが記された紙**

27.5×19.4cm  
終戦後の残務整理時のもの。

3-3-6(681)



**財務局機械保管手入計画案**

30.3×76.8cm  
終戦後の残務整理のもの。

3-3-6(674)



**メモ綴**

27.8×20.7cm  
終戦後の残務整理の時のもの。

3-3-6(732)



**豊川海軍工廠火工部人事主任発文書**

30.3×76.8cm  
昭和20年10月3日付、火工部人事主任発文書。空襲による戦死者の殉職年金の請求にあたり、戸籍謄本を送付するよう通知した文書。殉職年金受取人先順位表が添付される。封筒あり。

3-3-6(733)



**横須賀地方復員残務処理部長発文書**

25.7×18.0cm  
横人第八五号ノ四六四〇、昭和26年10月4日付。空襲による戦死者の遺骨伝達通知が届かなかったことに対する理由が記された文書。封筒あり。

3-3-6(394)



**普通定期乗車券登録申請書**

25.5×35.9cm  
残務整理者の通勤に対する普通定期乗車券登録申請書。元豊川海軍工廠内製紙工場代表者名で名古屋鉄道局長へ申請。

3-4-1(829)



**ポスター「十六歳の戦争」**

60.0×42.0cm

3-3-6(393)



**普通定期乗車券発売申請書**

17.8×25.5cm  
残務整理者の通勤に対する普通定期乗車券発売の申請書。元豊川海軍工廠内製紙工場代表者名で申請。

3-4-1(772)



**ポスター「豊川海軍工廠男工員募集」**

74.3×52.5cm

# 4

## 空襲関係資料

---



4-1-1(178.705.716.759)



**500ポンド爆弾破片**

25点  
昭和20年8月7日の空襲で投下された500ポンド爆弾の破片。

4-2-1(478)



**戦死通知書**

26.9×19.5cm  
豊川海軍工廠での戦死を、京都市左京区長より遺族へ通知した文書。

4-1-2(572)



**機銃弾丸**

5.9×1.3×1.3cm  
昭和20年7月に、P51より機銃掃射された時のものという。

4-2-1(477.729)



**豊川海軍工廠総務部長発遺族宛文書**

18.2×35.5cm, 2点  
豊川海軍工廠総務部長より遺族への文書。空襲による被害が大きいため戦没の通知が遅くなったこと、昭和20年8月19日に豊川福荷において告別式を執行了こと、各種賜金・保険金等の手続中であることなどが記されている。  
・封筒あり。[729]

4-1-2(571)



**薬莖**

9.8×2.0×2.0cm  
昭和20年7月に、P51より機銃掃射された時のものという。

4-2-2(476)



**豊川海軍工廠戦没者合同慰霊祭二関スル件**

25.3×18.3cm  
昭和20年9月14日に京都知恩院で行う合同慰霊祭を遺族へ通知する文書。財団法人国民労働員援護会京都府工部長発。「公報等送付二関スル件回答」が添付されている。

4-1-3(624)



**500ポンド爆弾の破片がささった跡のある柱**

130.3×10.4×10.4cm  
工廠近くの民家の蚕室の柱。500ポンド爆弾の破片がささった跡がある。

4-1-3(748)



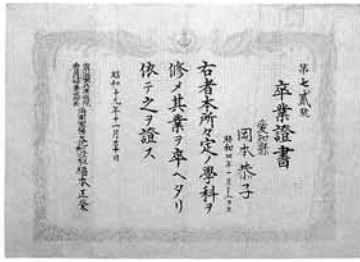
**500ポンド爆弾の破片がささった跡のある柱**

12.0×12.0×177.7cm

個人関係資料

---

5-1-1(115)



**共済病院看護婦養成所卒業証書**  
29.5×42.0cm  
昭和19年11月30日付。豊川海軍共済病院看護婦養成所長福本正栄より。

5-1-1(157)



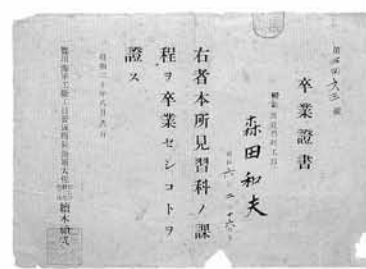
**工員養成所見習科卒業証書**  
29.5×41.9cm  
昭和19年3月20日付。豊川海軍工廠工員養成所長土井直治より。

5-1-1(238)



**共済病院保健婦養成所卒業証書**  
29.7×42.0cm  
昭和20年5月31日付。豊川海軍共済病院保健婦養成所長福本正栄より。

5-1-1(263)



**工員養成所見習科卒業証書**  
14.8×21.0cm  
昭和20年8月6日付。豊川海軍工廠工員養成所長続木禎式より。

5-1-1(690)

**工員養成所青年科第一本科卒業証書**  
25.5×36.3cm  
昭和20年3月28日付。豊川海軍工廠工員養成所長続木禎式より。

5-1-1(452)

**工員養成所見習科卒業証書**  
31.3×44.8cm  
昭和18年9月30日付。豊川海軍工廠工員養成所長土井直治より。

5-1-1(537)

**工員養成所青年科第一本科卒業証書**  
36.3×25.5cm  
昭和19年3月28日付。豊川海軍工廠工員養成所長土井直治より。

5-1-1(685)

**工員養成所見習科卒業証書**  
21.0×29.6cm  
昭和20年3月20日付。豊川海軍工廠工員養成所長続木禎式より。

5-1-1(151)

**工員養成所見習科卒業証書**  
29.5×41.7cm  
昭和19年3月20日付。豊川海軍工廠工員養成所長土井直治より。

5-1-1(159)

**昭和二十年第一期青年隊錬成課程修了証書**  
18.0×12.8cm  
昭和20年6月3日付。豊川海軍工廠報国団長清水文雄より。

66

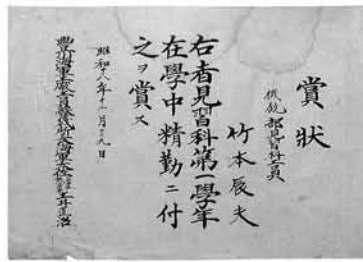
5-1-1(248)



女子従業員教育研究科修了証書

25.8×36.2cm  
昭和18年12月10日付。女子従業員教育主任指導官土井直治より。

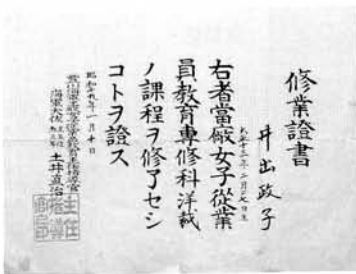
5-1-2(152)



賞状

20.8×29.6cm  
昭和18年12月29日付。豊川海軍工廠工員養成所長土井直治より。文面「右者見習科第一学年在学中精勤二付之ヲ賞ス」。

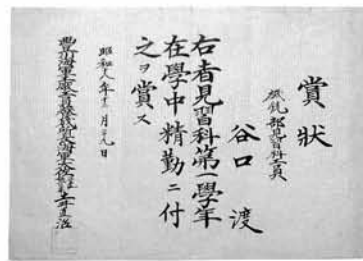
5-1-1(497)



女子従業員教育専修科洋裁課程修了証書

25.5×34.9cm  
昭和19年1月10日付。豊川海軍工廠女子従業員教育主任指導官土井直治より。

5-1-2(158)



賞状

20.8×29.7cm  
昭和18年12月29日付。豊川海軍工廠工員養成所長土井直治より。文面「右者見習科第二学年在学中精勤二付之ヲ賞ス」。

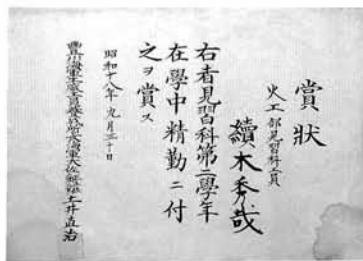
5-1-1(247)



女子従業員教育本科修了証書

25.5×36.2cm  
昭和17年9月24日付。豊川海軍工廠女子従業員教育主任指導官出石寛二より。

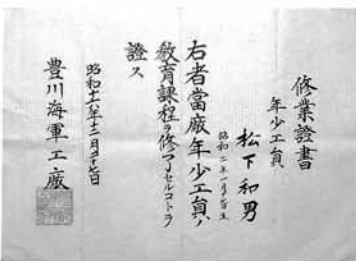
5-1-2(457)



賞状

22.2×31.8cm  
昭和18年9月30日付。豊川海軍工廠工員養成所長土井直治より。文面「右者見習科第二学年在学中精勤二付之ヲ賞ス」。

5-1-1(691)



年少工員教育課程修了証書

25.5×35.8cm  
昭和16年12月27日付。豊川海軍工廠より。

5-1-2(692)



賞状

22.0×31.5cm  
昭和18年3月28日付。豊川海軍工廠工員養成所長土井直治より。文面「右者青年科第二学年在学中精勤二付之ヲ賞ス」。

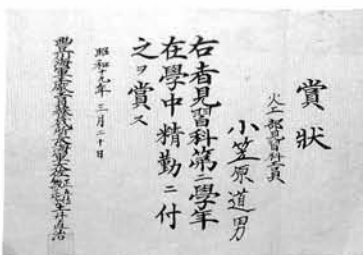
5-1-2(103)



賞詞

36.3×51.5cm  
昭和18年1月11日付。豊川海軍工廠火工部長戸塚武比古より

5-1-2(36)



賞状

21.0×29.6cm  
昭和19年3月20日付。豊川海軍工廠工員養成所長土井直治より。文面「右者見習科第二学年在学中精勤二付之ヲ賞ス」。



5-1-2(746)



表彰状

26.8×38.1cm
昭和17年12月8日付。豊川海軍工廠長相馬六郎より。文面「右者大東亞戦争勃発以降一箇年間皆勤以テ克ク職務ニ精勵シ兵器増産ニ貢献スル所極メテ大ナリ仍テ之ヲ表彰ス」。

5-1-2(535)



表彰状

31.8×44.0cm
昭和19年12月8日付。豊川海軍工廠第二男子寄宿舎舎監濱野文吉より。文面「右者当宿舎喇叭手トシテ克ク舎監ノ意ヲ体シ作業ノ傍訓練ヲ重ネ指揮団結心ノ昂揚ニ努メタルハ衆ノ模範トスルニ足ル仍テ茲ニ之ヲ表彰ス」。

5-1-2(28)



表彰状

18.3×12.8cm
昭和20年10月1日付。豊川海軍工廠報国団長清水文雄より。文面「右者昭和二十年年度青年隊養成期間中ニ於ケル成績極メテ優秀ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス」。

5-1-2(197)



表彰状

25.1×36.1cm
昭和20年3月8日付。豊川海軍工廠長清水文雄より。文面「右者一箇年間皆勤シ克ク職務ニ精勵以テ兵器増産ニ貢献シ大東亞戦争遂行ニ寄与スル所極メテ大ナリ仍テ之ヲ表彰ス」。

5-1-2(249)



表彰状

25.6×36.1cm
昭和20年3月8日付。豊川海軍工廠長清水文雄より。文面「右者一箇年間皆勤シ克ク職務ニ精勵以テ兵器増産ニ貢献シ大東亞戦争遂行ニ寄与スル所極メテ大ナリ仍テ之ヲ表彰ス」。

5-1-2(607)



表彰状

25.5×36.0cm
昭和二十年三月八日付。豊川海軍工廠長清水文雄より。文面「右者一箇年間皆勤シ克ク職務ニ精勵以テ兵器増産ニ貢献シ大東亞戦争遂行ニ寄与スル所極メテ大ナリ仍テ之ヲ表彰ス」。

5-1-2(527)



表彰状

26.3×37.5cm
昭和18年1月4日付。豊川海軍工廠長相馬六郎より。文面「右者勤勞報国ノ念厚ク克ク長期ニ亘リ勤続シ兵器増産ニ貢献スル所大ニシテ実ニ戦時下婦人ノ模範ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス」。

5-1-2(250)



表彰状

26.3×37.6cm
昭和18年1月4日付。豊川海軍工廠長相馬六郎より。文面「右者勤勞報国ノ念厚ク克ク長期ニ亘リ勤続シ兵器増産ニ貢献スル所大ニシテ実ニ戦時下婦人ノ模範ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス」。

5-1-2(529)



表彰状

25.7×36.4cm
昭和20年3月21日付。豊川海軍工廠第十女子寄宿舎舎監小久保武一より。文面「右者入廠以來職場ノ格別精勵寄与合在ニ奉先舍風ノ振作ニ勉メテ挺身奉公ニ邁進スル所大ニシテ實ニ戦時下婦人ノ模範ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス」。

5-1-2(101)



表彰状

26.5×37.8cm
昭和18年1月4日付。豊川海軍工廠長相馬六郎より。文面「右者勤勞報国ノ念厚ク克ク長期ニ亘リ勤続シ兵器増産ニ貢献スル所大ニシテ実ニ戦時下婦人ノ模範ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス」。

5-1-2(528)



表彰状

25.6×36.1cm

昭和20年3月8日付。豊川海軍工廠長清水文雄より。文面「右者一箇年間皆勤シ克ク職務ヲ精勤以テ兵器増産ニ貢献シ大東亞戰爭遂行ニ寄與スル所極メテ大ナリ仍テ之ヲ表彰ス」。

5-1-3(148)



工員養成所副級長任命書

25.5×18.1cm

昭和18年7月8日付。豊川海軍工廠工員養成所より。

5-1-2(255)



褒状

26.7×38.6cm

昭和17年2月11日付。豊川海軍工廠体育会会長相馬六郎より。文面「右者柔道寒稽古中皆勤ナルニ依リ之ヲ表彰ス」。

5-1-3(728)



私有品証明書

8.7×6.0cm

三角巾、マキロム、メンタム、カーゼなどの私有品の証明書。火工部検査主任より。

5-1-3(396,475,490,688)



海軍共済組合員証

10.6×7.2cm, 4点

・昭和19年9月19日交付。【396】  
・昭和19年11月6日交付。【475】  
・昭和19年10月6日交付。【490】  
・昭和19年10月2日交付。【688】

5-1-3(760)



証明書

25.6×16.1cm

昭和19年8月1日付。豊川海軍工廠光学部長出石寛二より。文面「右ノ者横須賀海軍工廠ヨリ転働者ニシテ体力手帳同廠ヨリ未送付ノモノナルコトヲ証明ス」。

5-1-3(507)



外出許可証

10.5×7.5cm

第十一女子従業員寄宿舎の女子工員の出出許可証。

5-1-3(205,646)

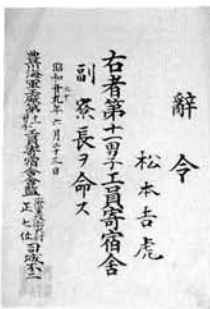


成績通知表

22.5×8.6cm, 2点

工員養成所の成績通知表。

5-1-3(254)



工員寄宿舎副級長辞令

25.5×18.0cm

昭和20年6月23日付。豊川海軍工廠第十一男子工員寄宿舎監司城不二より。第十一男子工員寄宿舎の副級長辞令。

5-1-3(669)



通門証

9.0×12.5cm

昭和15年5月6日交付。

5-1-3(668)



通門証

8.3×6.2cm  
昭和二十年八月三十日交付。ケース入り。

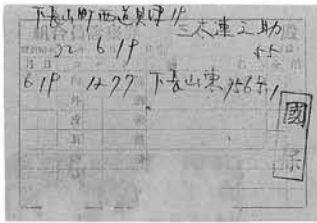
5-1-3(586)



身分証明書

8.9×6.0cm  
横須賀鎮守府発行。昭和十八年一月十三日交付。

5-1-3(282,419)



豊川海軍共済病院診察券

6.7×10.0cm, 2点  
・昭和二十年四月七日発行。[282]  
・昭和二十年六月十九日発行。[419]

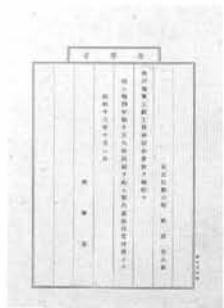
5-1-4(229,479,556,623,671,722,747,757,761)

給料明細書

12.5×6.1cm, 217点  
・昭和十五年十二月から十九年十二月までの給料明細書。[229]  
・昭和十九年一月から二十年三月までの給料明細書。[479]  
・昭和十八年六月から十九年八月までの給料明細書。[556]  
・昭和十六年一月から十八年六月までの給料明細書。[623]  
・昭和十五年九月から二十年七月までの給料明細書。[671]  
・昭和二十年五月の給料明細書。[722] 昭和十六年一月から十七年十月、十七年十二月から十八年十一月までの給料明細書。[747] 昭和十七年十二月から十八年九月までの給料明細書。[757] 昭和十七年六月から二十年三月にかけてのものであるが、抜けている部分もある。内1枚は、年月不明。[761]



5-1-3(773)



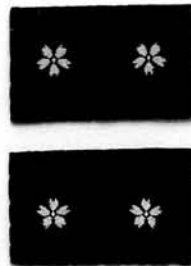
豊川海軍工廠工員寄宿舎辞令

25.5×18.0cm  
昭和十六年十月一日付。海軍省より。文面「豊川海軍工廠工員寄宿舎営業務ヲ囑託ス」。

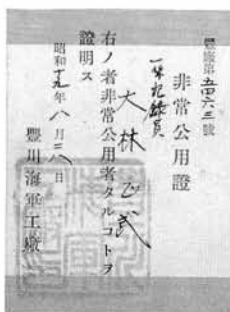
5-2-1(492,563)

一等工員襟章

1.9×3.2cm, 4点



5-1-3(19,727)



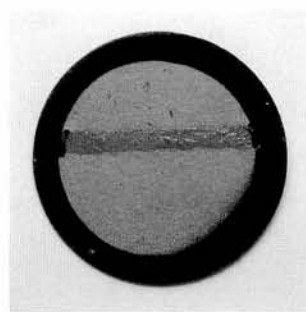
非常公用証

8.0×6.0cm, 2点  
・昭和十九年七月五日交付。電気工事のための非常公用証。[19]  
・昭和十九年八月二十六日交付。[727]

5-2-1(399)

一等工員胸章

5.9×5.9cm



5-1-3(404,564,565,585,725,726)



身分証明書

8.0×6.0cm, 6点  
豊川海軍工廠発行  
・昭和十七年八月十一日交付。昭和十九年十二月十一日検査済の押印あり。[404]  
・昭和十八年八月十一日発行。昭和十九年十二月十一日検査済の押印あり。[564]  
・昭和二十年六月三十日交付。[565]  
・昭和十八年八月十一日交付。昭和十九年六月十一日検査済の押印あり。[585]  
・昭和十八年八月十一日交付。昭和十九年六月十一日、十二月十一日検査済の押印あり。[725]  
・昭和二十年六月二十四日交付。[726]

5-2-1(410)

工部検査係腕章

5.0×8.7cm  
工員徽章が付いている。



5-2-1(237,626)

**共済病院襟章**

1.3×1.3cm, 2点



5-2-1(212,213,251)

**工員職札**

9.0×4.0×0.5cm, 3点

・表面に氏名の墨書あり。裏面に「豊川海軍工廠」の焼印あり。表の1/3を欠損する。【212】  
・表面に氏名の墨書あり。裏面は全て欠損する。【213】  
・表面に「豊川海軍工廠」の焼印あり。【251】

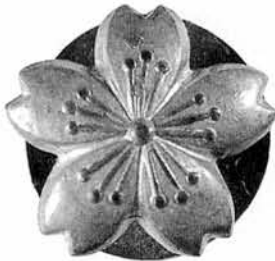


5-2-1(180)

**共済病院看護婦生徒襟章**

0.9×1.0cm

襟章の数は、1年生1個、2年生2個であったという。



5-2-1(88)

**工廠通行門鑑**

5.0×5.0cm



5-2-1(179)

**共済病院正看護婦襟章**

1.2×1.3cm



5-2-1(400)

**職手胸章**

5.9×5.9cm



5-2-1(236)

**共済病院帽章**

2.1×1.6cm



5-2-1(256,503)

**花形胸章**

6.9×7.0cm, 2点

・中央に「取締」のペン書きがある。女子工員取締員の胸章という。【256】



5-2-1(257,283,397,473,505)

**工員徽章**

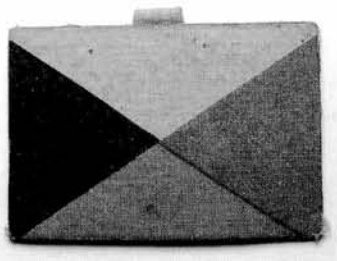
1.6×1.6cm, 5点



5-2-1(504,784)

**Z旗バッチ**

4.8×6.7cm, 2点





5-2-1(398,474)

徴用工員徽章

1.5×1.5cm, 2点



5-2-1(491)

帽章

3.8×2.7cm



5-2-1(405,602,603)

名札(火工部弾丸工場)

6.0×6.0cm, 3点



5-2-1(135,493)

帽章

4.0×3.1cm, 2点



5-2-1(413)

名札

6.0×6.0cm



5-2-2(149,264,395,509,643)

海軍工員手帳

17.6×8.5cm, 5点  
採用前・採用後の略歴・賃銭の増減・賞罰などの項目がある。



5-2-1(506)

名札(火工部第一装填工場)

6.0×6.0cm



5-2-2(165)

共済組合員家族需療書

13.1×9.0cm  
豊川海軍共済組合病院などにおいて、共済組合員及びその家族が診療を受ける際の証明用として用いたもの。



5-2-1(555)

名札(会計部材料課)

6.0×6.0cm



5-2-2(414,742)

女子勤労挺身隊員手帳

12.0×8.8cm, 2点  
昭和19年4月18日から11月19日までの工廠への入所・退所時間の記録がある。[414]  
昭和19年4月21日から4月29日までの工廠への入所・退所時間の記録がある。[742]





5-2-3(46,156,420,468,630,631)

### 国債貯金通帳

18.1×8.5cm, 6点

・昭和18年12月27日、東海銀行豊川支店発行。[468, 630, 631]  
・昭和19年6月28日、東海銀行豊川支店発行。[46, 156]  
・昭和19年12月28日、東海銀行豊川支店発行。[420]



5-2-6(24,584,670,756,775)

### 給料袋

15.0×12.0cm, 49点



5-2-3(279,280)

### 郵便貯金通帳

17.2×10.5cm, 2点

・昭和15年12月28日から18年2月27日までの領収印あり。表紙に「豊廠報国貯金」の押印あり。[279]  
・昭和17年3月4日から20年4月25日までの領収印あり。[280]



5-2-6(573,753)

### 給料袋(昭和十八年六月)

15.0×12.0cm, 2点

徹文の文面「決戦だ!貯蓄は兵器だ!弾丸だ!!生産戦にも貯蓄戦にもガンバリ抜いて勝抜かう!!本年度の国の貯蓄目標は二百七十億円。一人残らず戦費を賄ふ決戦貯蓄の新目標を突破する為各自の貯蓄額を増額致しませう。今月は賞与も支給されたのですから組合貯蓄以外に更に貯蓄を致しませう。必勝不敗の態勢を示せ吾等の威力!!昭和十八年六月分 豊川海軍工廠」



5-2-4(411)

### 鉢巻

4.3×81.0cm

女子挺身隊員が使用したという。



5-2-6(230,574,754)

### 給料袋(昭和十八年七月)

15.0×12.0cm, 3点

徹文の文面「決戦は空に在り」と山本元帥は身をもつて示された。われわれは今こそ一時の勝敗に一喜一憂することなく米英絶対撃滅の決意を新にせねばならぬ。一発でも多くの弾丸を 一挺でも多くの機銃を 一機でも多くの飛行機を送ることが吾々の任務だ。そして前線将兵に思ふ存分戦つて貰はふではないか。 昭和十八年七月 豊川海軍工廠」



5-2-4(184)

### モンペと上着

99.3×60.5cm(モンペ)、72.8×128.0(上着)

当時使用していたものという。



5-2-6(575)

### 給料袋(昭和十八年八月)

15.0×12.0cm

徹文の文面「果して産業戦士として世人に自負できるだらうか もう一度反省してみよう 父に見られて悔ゆるところがないか 母になんと誓つたか 兄弟姉妹に恥づるところがないか 前線の友に相済めどころがないか 反省してみよう 世界に誇る日本...この國を護る我々の意気を盛んならしめるために 昭和十八年八月 豊川海軍工廠」



5-2-5(304,305,567,625,644)

### 印鑑

1.8×1.0×6.1cm, 5点

工員の氏名が刻まれている。



5-2-6(576,755)

### 給料袋(昭和十八年九月)

15.0×12.0cm, 2点

徹文の文面「歎び 此の聖代 大東亞戦下 日本國民として生を受けた歎び 世界の何処に類かあらうか 毎朝の新聞を読み 毎日のラジオを聞け 世界到る処満乱の巻である 鬼畜の米英を撃滅して 大東亞に新らしく 明るき朝を迎える日迄 吾等は生産の腕を存分に振はう 昭和十八年九月 豊川海軍工廠」



5-2-7(286.677)



工員からのはがき

14.0×9.0cm, 14点  
終戦後のもの。

5-2-7(724)



定期乗車券(西豊川-東新町)

8.6×6.0cm  
昭和20年6月14日発行。昭和20年6月18日から昭和20年12月17日まで有効。飯田線東新町駅発上りの時刻表のメモ添付。ケースあり。

5-2-7(499)



出納帳

17.7×12.5cm  
女子工員の昭和17年12月から19年11月までの出納帳。

5-2-7(687)



生麥酒特配券

6.8×3.2cm, 4点  
裏面に「豊川海軍共済物資部」の押印あり。

5-2-7(85)



硯(豊川海軍工廠竣工式記念品)

14.9×12.0×2.5cm  
硯の裏面に、「豊川海軍工廠竣工式記念品 昭和拾四年拾貳月拾五日」とある。紙箱あり。

5-2-7(416)



物品購買帳

12.8×5.9cm, 2点  
未使用品。

5-2-7(737)



「大慈」銘入り盆

25.0×30.8×2.0cm  
豊川海軍工廠殉職者十三回忌記念品。底部に「豊川海軍工廠殉職者十三回忌記念」と記されている。

5-2-7(412.566)



物品配給帳

12.5×5.6cm, 2点  
・昭和19年4月29日交付。【412】  
・昭和18年6月11日交付。【566】

5-2-7(686.723)



定期乗車券(豊橋-西豊川)

8.5×6.0cm, 2点  
・昭和20年4月14日発行。昭和20年4月18日から昭和20年10月17日まで有効。【686】  
・昭和20年6月14日発行。昭和20年6月18日から昭和20年11月17日まで有効。飯田線豊橋駅発下りの時刻表のメモ添付。ケースあり。【723】

5-2-7(766)



見習工員からのはがき

14.0×9.0cm, 3点  
いずれも検閲済の押印あり。



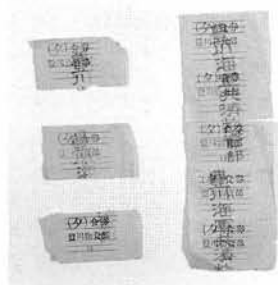
5-2-7(587)



名刺

9.1×5.4cm  
海軍技師の名刺。

5-2-7(689)



夕食券

2.8×5.0cm, 8点

5-2-7(526)



寄書き

18.5×25.7cm  
6枚綴。

5-2-7(745)



寄書き入り日章旗

69.3×101.0cm

# 6

## 図 書 資 料

---

6-1-1(136,163)



**吾妻軍歌集**

9.1×12.5cm, 2点  
152ページ。兵用図書株式会社発行。  
・131～152ページを欠損。【136】

6-1-1(649)



**化学技術者の熱力学**

21.2×15.5cm  
344ページ。昭和18年10月5日再版発行。共立出版株式会社発行。表紙裏面・裏表紙裏面・本文中に「豊川海軍工廠工員養成所図書之印」の押印あり。中表紙に「豊廠事業費図書之印」「和書第一八附養一〇〇ノ五〇号ノ一七」の押印あり。

6-1-1(55)



**太田実業公民教科書**

21.0×15.0cm  
230ページ。昭和16年10月25日訂正3版発行。中等学校教科書株式会社発行。中表紙に「工員養成所」の押印あり。

6-1-1(429)



**機械工作実習指導**

21.0×14.8cm  
526ページ。昭和16年5月29日改訂7版発行。大日本工業学会発行。

6-1-1(424)



**太田実業公民教科書**

20.8×14.5cm  
230ページ。昭和16年10月25日訂正3版発行。富山房発行。見返しに「豊川海軍工廠工員養成所」の押印あり。

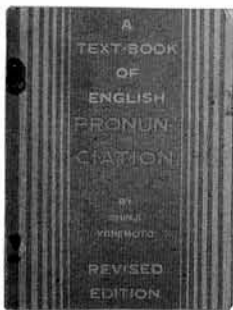
6-1-1(50,153,196)



**機械工作実習指導**

21.0×15.3cm, 3点  
526ページ。昭和18年3月29日改訂11版。大日本工業学会発行。  
・見返しに「豊川海軍工廠 工員養成所 接受」の押印あり。【153】  
・見返しに「豊川海軍工廠工員養成所図書之印」の押印あり。【196】

6-1-1(20,428)



**改訂英語発音教科書**

19.5×14.5cm, 2点  
70ページ。昭和13年2月10日改訂45版発行。文修堂発行。  
・裏表紙に「豊川海軍工廠工員養成所図書之印」の押印あり。【20】  
・見返しに「豊川海軍工廠工員養成所」の押印あり。【428】

6-1-1(664)



**級数論**

21.3×16.0cm  
610ページ。昭和18年12月5日第3刷発行。岩波書店発行。表紙に「養成所 分類番号4□2 小番号」のラベルあり。見返しにラベルをはかした跡あり。本文中に「豊川海軍工廠工員養成所図書之印」の押印あり。表紙裏面・裏表紙裏面・本文中に「豊川海軍工廠工員養成所」の押印あるが、墨塗りにより消される。中表紙に「豊廠事業費図書之印」の押印あるが、墨塗りにより消される。中表紙に「豊川市立高等女学校保護者会」の押印あり。

6-1-1(659)



**外来語辞典**

17.3×12.4cm  
1,208ページ。昭和16年6月10日発行。富山房発行。表紙裏面に「豊川海軍工廠工員養成所」の押印あるが、墨塗りにより消される。中表紙に「豊廠事業費図書之印」の押印あるが、墨塗りにより部分的に消される。中表紙に「豊川市立高等女学校保護者会」の押印あり。

6-1-1(662)



**ギリシア・ラテン引用語辞典**

18.3×14.0cm  
852ページ。昭和17年9月20日第2刷発行。岩波書店発行。852ページに「豊川海軍工廠工員養成所」の押印あり。表紙裏面と裏表紙裏面に「豊川海軍工廠工員養成所」の押印あるが、墨塗りにより消される。

6-1-1(658)



### 金属材料分析法

21.3×15.6cm

418ページ。昭和18年7月5日2版印刷発行。河出書房発行。表紙に「養成所部 分類番号501」のラベルあり。表紙と裏表紙裏面と本文中に「豊川海軍工廠工員養成所」の押印あり。本文中に「工員養成所」の押印あり。中表紙に「豊川海軍工廠工員養成所図書之印」の押印あり。

6-1-1(51,154,194)



### 現代実用物理要説

21.0×14.8cm,3点

150ページ。昭和16年9月10日修正3版発行。中等学校教科書株式会社発行。  
・本文中に「工員養成所」の押印あり。[51]  
・見返しに「工員養成所」の押印あり。[154,194]

6-1-1(665)



### 金属の腐蝕及防蝕 上巻

26.3×20.3cm

466ページ。昭和18年12月20日4刷発行。共立出版株式会社発行。中表紙に「豊川海軍工廠工員養成所図書之印」の押印あり。裏表紙裏面と見返しに「豊川海軍工廠工員養成所図書之印」の押印あるが、墨塗りにより消される。

6-1-1(430)



### 現代実用物理要説

20.8×14.8cm

150ページ。昭和16年9月10日修正3版発行。東京開成館発行。表紙に「豊川海軍工廠工員養成所図書之印」の押印あり。

6-1-1(647)



### 軽金属と軽合金

18.5×13.5cm

182ページ。昭和17年11月30日発行。誠文堂新光社発行。本文中に「工員養成所」の押印あり。

6-1-1(155,454)



### 皇漢名詩の吟じ方

14.6×8.4cm,2点

144ページ。昭和17年11月5日280版。桑文社発行。  
・表紙裏に「豊川海軍工廠報国団印」の押印、「図書番号 第六三八号 九〇〇部ノ内六三八冊 豊報報国団 昭和一八年二月二〇日」のラベルあり。[454]

6-1-1(54,162)



### 現勢地理通論 実業学校用

21.0×15.0cm,2点

116ページ。昭和16年2月18日再訂正再版発行。中等学校教科書株式会社発行。  
・表紙に「工員養成所」の押印あり。[54]

6-1-1(52,435)



### 概要外国地理 実業学校用 修正版

21.0×14.8cm,2点

132ページ。昭和16年9月25日修正版三訂正版発行。中等学校教科書株式会社発行。  
・表紙に「工員養成所」の押印あり。[52]  
・中表紙に「豊川海軍工廠工員養成所図書之印」の押印あり。[435]

6-1-1(434)



### 現勢地理通論 実業学校用

20.8×14.6cm

116ページ。昭和16年2月18日再訂正再版発行。富山房発行。表紙に「豊川海軍工廠工員養成所図書之印」の押印あり。

6-1-1(656)



### 個性調査法

21.3×15.9cm

415ページ。昭和14年4月15日4版発行。培風館発行。表紙裏面と裏表紙裏面に「豊川海軍工廠工員養成所図書之印」の押印あるが、墨塗りにより消される。中表紙に「豊川市立高等女学校保護者会」の押印あり。



6-1-1(193)



**再訂 新実業幾何学教科書**

20.9×14.9cm  
246ページ。昭和11年12月25日訂正5版発行。中等学校教科書株式会社発行。表紙に「工具養成所」の押印あり。

6-1-1(37)



**新実業代数学教科書**

21.1×14.8cm  
198ページ。中等学校教科書株式会社発行。表紙・背表紙を欠損する。見返しに「工具養成所」の押印あり。

6-1-1(425)



**再訂 新実業幾何学教科書**

20.8×14.5cm  
246ページ。昭和11年12月28日訂正5版発行。富山房発行。

6-1-1(422)



**新制国語読本 巻五**

21.0×14.6cm  
162ページ。昭和16年10月30日修正3版発行。三省堂発行。中表紙に「豊川海軍工廠工員養成所」の押印あり。

6-1-1(25,48,433)



**初級機械製図**

21.0×15.5cm, 3点  
218ページ。昭和17年11月10日18版。工業図書株式会社発行。  
・表紙に「豊川海軍」のペン書きあり。  
・見返しに「工具養成所」の押印あり。【25】  
・見返しに「工具養成所」の押印あり。【48】  
・中表紙に「豊川海軍工廠工員養成所 17.11.2 接受」の押印あり。【433】

6-1-1(464)



**新制国語読本 巻六**

21.0×14.8cm  
164ページ。昭和13年1月15日修正再版発行。三省堂発行。表紙に「豊川海軍工廠工員養成所図書之印」の押印あり。

6-1-1(39,53,195)



**新実業化学**

21.0×15.0cm, 3点  
170ページ。昭和16年12月10日修正第3版発行。中等学校教科書株式会社発行。  
・本文中に「工具養成所」の押印あり。【53】  
・中表紙に「工具養成所」の押印あり。【195】

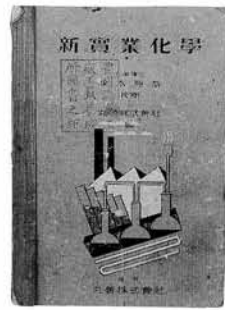
6-1-1(22,207)



**新選大地図 外国篇 修正版**

26.0×18.3cm, 2点  
96ページ。昭和18年7月5日修正7版発行。中等学校教科書株式会社発行。  
・中表紙に「豊川海軍工廠工員養成所図書之印」の押印あり。【22,207】

6-1-1(91,431)



**新実業化学**

21.0×14.8cm, 2点  
170ページ。昭和16年12月10日修正第3版発行。丸善株式会社発行。  
・表紙に「豊川海軍工廠工員養成所図書之印」の押印あり。【91,431】

6-1-1(437)



**新選大地図 外国篇 修正版**

26.0×18.4cm  
109ページ。昭和16年9月27日修正6版発行。中等学校教科書株式会社発行。表紙に「豊川海軍工廠工員養成所図書之印」の押印あり。

6-1-1(436)



**新選大地図 日本篇 修正版**

25.7×18.3cm

97ページ。昭和16年9月29日修正6版発行。中等学校教科書株式会社発行。中表紙に「豊川海軍工廠工員養成所図書之印」の押印あり。

6-1-1(427)



**スタンダード・テクニカル・リーダーズ 2**

21.0×14.8cm

156ページ。昭和16年8月30日訂正3版発行。斯文書院発行。見返しに「豊川海軍工廠工員養成所」の押印あり。

6-1-1(208)



**新選大地図 日本篇 修正版**

26.0×18.1cm

88ページ。昭和18年7月5日修正7版発行。中等学校教科書株式会社発行。中表紙に「豊川海軍工廠工員養成所図書之印」の押印あり。

6-1-1(652)



**世界年鑑 昭和十八年版**

21.5×16.8cm

1,510ページ。昭和18年12月20日発行。実業之日本社発行。表紙の裏面・裏表紙の裏面・本文中に「豊川海軍工廠工員養成所図書之印」の押印あり。中表紙に「豊川海軍工廠工員養成所」の押印あり。「和書第一八附録一〇〇ノ七九号ノ六」の押印あり。

6-1-1(462)



**新日本修身 卷三**

21.0×14.7cm

108ページ。昭和16年9月15日訂正3版発行。修文館発行。

6-1-1(660)



**世界歴史第七巻 ヨーロッパ帝国主義の成立**

21.9×15.8cm

473ページ。昭和17年9月20日再版第一印刷発行。河出書房発行。本文中に「豊川海軍工廠工員養成所」の押印あり。表紙裏面と裏表紙裏面に「豊川海軍工廠工員養成所」の押印があるが、墨塗りにより消される。

6-1-1(432)



**新日本修身 卷四**

21.0×14.8cm

108ページ。昭和16年9月15日訂正3版発行。修文館発行。中表紙に「豊川海軍工廠工員養成所図書之印」の押印あり。

6-1-1(445)



**セルフ・フォーミング・ペンマンシップ 1巻**

14.8×21.0cm

74ページ。昭和13年2月3日修正発行。開隆堂発行。

6-1-1(426)



**スタンダード・テクニカル・リーダーズ 1**

21.1×14.8cm

138ページ。昭和16年8月30日訂正3版発行。斯文書院発行。見返しに「豊川海軍工廠工員養成所」の押印あり。

6-1-1(444)



**セルフ・フォーミング・ペンマンシップ 2巻**

15.0×21.3cm

80ページ。昭和13年2月3日修正発行。開隆堂発行。表紙に「工員養成所」の押印あり。

6-1-1(38.49)



**中学国史通記 初年級用**

21.0×14.8cm, 2点  
226ページ。昭和16年7月25日訂正4版発行。中等学校教科書株式会社発行。  
表紙に「工具養成所」の押印あり。【38、49】

6-1-1(667)



**有機溶剤**

18.4×13.8cm  
403ページ。昭和18年8月10日発行。青年書房昭光社発行。本文中、裏表紙裏面に「豊川海軍工廠工具養成所図書之印」の押印あり。

6-1-1(423)



**中学国史通記 初年級用**

21.0×14.8cm  
234ページ。昭和16年7月25日訂正4版発行。積善館発行。中表紙に「豊川海軍工廠工具養成所」の押印あり。

6-1-1(666)



**RIKIGAKU I**

21.5×16.0cm  
524ページ。昭和17年3月20日第5刷発行。岩波書店発行。本文中に「豊川海軍工廠工具養成所図書之印」の押印あり。表紙裏面・裏表紙裏面・本文中に「豊川海軍工廠工具養成所図書之印」の押印あるが、墨塗りにより消される。

6-1-1(661)



**南洋諸島 自然と資源**

21.3×15.7cm  
450ページ。昭和17年8月1日4版第1刷発行。河出書房発行。表紙裏面・裏表紙裏面・本文中に「豊川海軍工廠工具養成所」の押印あり。

6-1-1(663)



**RIKIGAKU II**

21.4×15.8cm  
354ページ。昭和17年3月20日第4刷発行。岩波書店発行。本文中に「豊川海軍工廠工具養成所図書之印」の押印あり。表紙裏面・裏表紙裏面・本文中に「豊川海軍工廠工具養成所図書之印」の押印あるが、墨塗りにより消される。

6-1-1(657)



**ペイント及びエナメルペイント**

21.3×16.2cm  
352ページ。昭和18年5月30日2版発行。修教社書院発行。本文中に「豊川海軍工廠工具養成所」の押印あり。表紙裏面と本文中に「豊川海軍工廠工具養成所」の押印があるが、墨塗りにより消される。

6-1-2(92)



**工具養成所卒業記念寄書帳**

20.9×15.0cm  
豊川海軍工廠工具養成所学習簿を使用。ページの後半は、他の事項に転用している。

6-1-1(138.463)



**砲熧兵器教科書 第二学年**

25.6×18.3cm, 2点  
42ページ。昭和15年、横須賀海軍工廠教習所発行。

6-1-2(443)



**算術学習帳**

21.0×14.4cm  
62ページ。株式会社共同ノート販売所発行。



6-1-2(93)

**随筆集**

20.8×15.0cm

「入廠して或日の思出」という項目あり。それ以外は、工廠関係の内容ではない。豊川海軍工廠工員養成所学習簿を使用。



6-1-2(441)

**代数帳**

21.0×14.5cm

68ページ。表紙に「賞与」の押印あり。裏表紙に時間表あり。



6-1-2(440)

**豊川海軍工廠工員養成所  
学習簿**

20.9×14.8cm

縦書き形式ノート。



6-1-2(94)

**ノートブック**

21.2×15.0cm

76ページ。幾何学のノートとして使用されたもの。

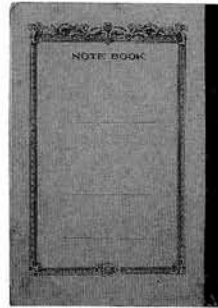


6-1-2(23,439)

**豊川海軍工廠工員養成所  
学習簿**

21.0×15.0cm, 2点

表形式ノート。



6-1-2(442)

**ノートブック**

21.0×15.0cm

72ページ。縦書き形式ノート。



6-1-2(137,438)

**豊川海軍工廠工員養成所  
学習簿**

21.0×14.8cm, 2点

方眼形式ノート。



6-1-3(262)

**豊川海軍工廠見習工員日誌**

18.1×12.9cm

昭和20年3月29日から5月16日までの日記。



6-1-2(56)

**豊川海軍工廠工員養成所  
学習簿**

21.3×15.0cm

横書き形式ノート。



6-1-3(261)

**豊川海軍工廠見習工員日誌**

21.0×15.0cm

昭和20年5月16日から8月16日までの日記。



6-1-3(568)



**豊川海軍工廠見習工員日誌**

20.8×15.0cm  
昭和18年4月1日から9月29日まで  
の日記。

6-2-1(210)



**仕上須知**

17.6×12.8cm  
25ページ。昭和18年10月指揮兵器  
部仕上工場発行。表紙に㊟の押印  
あり。

6-1-3(569)



**豊川海軍工廠見習工員日誌**

20.7×15.5cm  
昭和18年10月1日から昭和19年3  
月26日までの日記。

6-2-2(648,715)



**簡明看護学**

21.5×16.0cm、2点  
384ページ。昭和19年9月8日発行。  
豊川海軍工廠医務部発行。  
・裏表紙裏面に「簡明看護学1266  
/1850豊川海軍共済病院看護婦  
養成所図書」のラベルあり。【648】  
・裏表紙裏面に「簡明看護学433/  
1850豊川海軍共済病院看護婦養  
成所図書」のラベルあり。【715】

6-1-3(35,446,654)



**豊川海軍工廠見習工員日誌**

21.2×15.0cm、4点  
未使用。

6-2-2(109)



**簡明看護学 前編**

21.2×16.1cm  
346ページ。昭和17年6月10日第  
17版発行。南山堂書店発行。裏表紙  
裏面に「豊共病 第56/65号 昭和  
18年4月7日」のラベルあり。

6-1-4(461)



**第一・二期見習科工員卒業  
記念帳**

29.5×21.0cm  
第三期生以降は記念帳が作られなく  
なったという。

6-2-3(79)



**解説 化学工業工程図**

18.8×25.8cm  
224ページ。昭和19年10月15日再  
版印刷発行。京極書店発行。寄贈者が、  
火工部作業係及び会計部購買課動  
務時に使用していたという。

6-2-1(26)



**九六式二十五耗機銃金物  
鑄造法 A (架構之部)**

25.6×18.0cm  
本文17ページと図面及び写真から  
なる。昭和16年9月、横須賀海軍工  
廠造機部発行。

6-2-3(501)



**改訂 求道の菜**

14.2×8.2cm  
115ページ。昭和18年6月30日  
146版発行。財団法人修養園発行。

6-2-3(348)



**改訂 防護団員必携草案**

14.8×10.5cm  
339ページ。昭和12年5月発行。中表紙に「岐阜薬学専門学校図書之印」の押印あり。

6-2-3(206)



**工業材料全**

22.2×15.5cm  
102ページ。昭和15年11月15日発行。財団法人国民工業学院発行。見返しに「機銃部事業費図書.131」の押印あり。

6-2-3(349)



**改訂 防護団幹部必携草案**

14.5×10.5cm  
85ページ。昭和12年7月発行。中表紙に「岐阜薬学専門学校図書之印」の押印あり。

6-2-3(82)



**實用化学便覧**

18.1×13.0cm  
1,766ページ。昭和17年3月15日改訂版五版発行。化学工業時報社発行。寄贈者が、火工部作業係及び会計部購買課勤務時に使用していたという。

6-2-3(388)



**火薬化学**

21.4×15.4cm  
560ページ。昭和17年11月30日再版発行。科学主義工業社発行。

6-2-3(350)



**戦時必携 救急手帖**

15.0×10.6cm  
204ページ。昭和18年6月15日発行。

6-2-3(81)



**規範化学**

19.5×13.2cm  
800ページ。昭和13年4月5日3版発行。廣文館発行。中表紙に「私品持込持出通門証(日付:昭和16年4月26日)」が添付されている。寄贈者が、火工部作業係及び会計部購買課勤務時に使用していたという。

6-2-3(78)



**第五改正 日本薬局方注解**

24.8×18.0cm  
1,504ページ。昭和13年6月10日第4版発行。南江堂発行。寄贈者が、火工部作業係及び会計部購買課勤務時に使用していたという。

6-2-3(655)



**軍人勅諭謹解**

21.5×16.0cm  
744ページ。昭和19年4月20日発行。鶴書房発行。

6-2-3(80)



**燃料執務便覧**

19.1×13.2cm  
738ページ。紙箱入り。昭和16年6月。第一海軍燃料廠発行。寄贈者が、火工部作業係及び会計部購買課勤務時に使用していたという。

6-2-4(278)



海軍工員服務綱領

12.8×9.1cm

6-2-4(260,606,767)



生徒常訓 豊川海軍工廠工員養成所

14.8×10.3cm, 3点  
27ページ。

6-2-4(458)



従業員必携 豊川海軍工廠

18.0×12.0cm  
昭和17年7月発行。

6-2-4(588,776)



私達の寄宿舍

12.5×18.0cm, 2点  
女子従業員募集のために制作されたパンフレット。

6-2-4(736)



従業員必携 豊川海軍工廠

18.3×12.3cm  
昭和17年8月発行。

6-2-5(777)



写真週報 第九十一号

29.6×21.0cm  
24ページ。昭和16年10月22日発行。  
内閣印刷局発行。表紙に「豊川海軍工廠第五工員寄宿舍」の押印あり。

6-2-4(502)



女子従業員教育資料 天道流 薙刀(体育)

14.8×10.4cm  
31ページ。豊川海軍工廠発行。

6-2-5(778)



写真週報 第九十二号

29.6×21.0cm  
23ページ。昭和16年10月29日発行。  
内閣印刷局発行。表紙に「豊川海軍工廠第五工員寄宿舍」の押印あり。

6-2-4(500,525)



生活のしをり 豊川海軍工廠 女子従業員寄宿舍

14.8×10.6cm, 2点  
20ページ。

6-2-5(779)



写真週報 第九十五号

29.6×21.0cm  
23ページ。昭和16年11月19日発行。  
内閣印刷局発行。表紙に「豊川海軍工廠第五工員寄宿舍」の押印あり。

6-2-5(780)



**写真週報 第二百一号**

29.6×21.0cm

23ページ。昭和16年12月31日発行。  
内閣印刷局発行。裏表紙に「海軍工廠」  
のペン書きあり。

6-2-5(781)



**写真週報 第二百五号**

29.6×21.0cm

23ページ。昭和17年1月28日発行。  
内閣印刷局発行。表紙に「豊川海軍  
工廠第五工員寄宿舍」の押印。裏表  
紙に「豊川海軍工廠牛久保工員寄  
宿舍」の押印あり。

6-2-5(782)



**写真週報 第二百十七号**

29.6×21.0cm

23ページ。昭和17年4月22日発行。  
内閣印刷局発行。裏表紙に「海軍工廠」  
のペン書きあり。

6-2-5(496)



**日本女性 二月号**

25.7×18.0cm

64ページ。昭和19年2月1日発行。  
大陸講談社発行。挺身隊特輯号。30  
～34ページに「豊川海軍工廠の女  
性群 海軍精神と寮生活」の記事が  
掲載されている。



写 真 資 料

---

7-1-1(542)



光学部・指揮兵器部事務所付近

18.8×25.3cm  
コピー写真。昭和20年3月に光学部調整工場より撮影したものである。

7-1-2(702)



錨マーク入り消火栓

12.6×18.0cm  
コピー写真。木工工場跡、昭和39年頃に撮影したものである。

7-1-1(183)



昭和十八年十一月三日豊川海軍共済病院増築・浜名湖保養所開所記念写真入れ封筒

16.6×10.1cm  
昭和18年11月3日の豊川海軍共済病院増築・浜名湖保養所開所記念で作成されたもの。

7-1-2(790)



光学部・指揮兵器部事務所付近

13.0×18.0cm  
コピー写真。

7-1-1(34,181)



豊川海軍共済病院新本館

9.5×15.6cm, 2点  
向かって右下に「豊川海軍共済病院新本館(横須賀鎮守府検閲済)」のキャプションあり。浜名湖保養所写真(固有番号33, 182)とセットで封筒入り。昭和18年11月3日の豊川海軍共済病院増築・浜名湖保養所開所記念で作成されたもの。

7-1-2(789)



光学部調整工場屋上から研磨工場を望む

13.0×18.0cm  
コピー写真。

7-1-1(632)



豊川海軍工廠遠景

13.0×9.0cm  
コピー写真。昭和15年冬、工廠の南方より撮影されたものである。

7-1-2(792)



光学部調整工場屋上から西北方面を望む

13.0×18.0cm  
コピー写真。

7-1-1(33,182)



浜名湖保養所

9.4×15.3cm, 2点  
向かって右下に「浜名湖保養所(横須賀鎮守府検閲済)」のキャプションあり。豊川海軍共済病院新本館写真(固有番号34, 181)とセットで封筒入り。昭和18年11月3日の豊川海軍共済病院増築・浜名湖保養所開所記念で作成されたもの。

7-1-2(798)



光学部調整工場屋上から南方を望む

13.0×18.0cm  
コピー写真。

7-1-2(799)



工場中央部から南東方面を望む

13.0×18.0cm  
コピー写真。

7-1-2(788)



正門付近

13.0×18.0cm  
コピー写真。

7-1-2(696)



工場南西部付近

12.6×18.9cm  
コピー写真。昭和39年頃に撮影した  
ものという。

7-1-2(786)



正門前

13.0×18.0cm  
コピー写真。

7-1-2(794)



正門北側から南東方面を望む

13.0×18.0cm  
コピー写真。

7-1-2(695)



正門前

12.6×19.0cm  
コピー写真。昭和39年頃に撮影した  
ものという。

7-1-2(797)



正門付近

13.0×18.0cm  
コピー写真。

7-1-2(698)



男子工員寄宿舍

12.7×19.0cm  
コピー写真。昭和39年頃に撮影した  
ものという。

7-1-2(796)



正門付近

13.0×18.0cm  
コピー写真。

7-1-2(697)



男子工員寄宿舍

12.2×18.3cm  
コピー写真。昭和39年頃に撮影した  
ものという。

7-1-2(803)



南部中学校に利用された  
第七工員寄宿舍

13.0×18.0cm  
コピー写真。

7-1-2(800)



奉安庫付近

13.0×18.0cm  
コピー写真。

7-1-2(802)



南部中学校に利用された  
第七工員寄宿舍

13.0×18.0cm  
コピー写真。

7-1-2(793)



北東門より西方を望む

13.0×18.0cm  
コピー写真。

7-1-2(795)



破壊された工場

13.0×18.0cm  
コピー写真。

7-1-2(791)



雷管圧搾工場

13.0×18.0cm  
コピー写真。

7-1-2(801)



奉安庫

13.0×18.0cm  
コピー写真。

7-2-1(545)



運動競技優勝記念

19.1×28.5cm  
コピー写真。昭和18～19年に廠内  
で行われた運動競技の優勝記念。  
競技名・日時は不明。

7-1-2(787)



奉安庫から東方を望む

13.0×18.0cm  
コピー写真。

7-2-1(161)



開廠当時の首脳陣

11.8×16.2cm  
コピー写真。

7-2-1(258)



**竣工式式典**

25.3×30.5cm  
コピー写真。昭和14年12月15日の竣工式式典の写真。

7-2-1(241)



**共済病院看護婦記念**

9.6×13.5cm  
裏面に「仮本部の正看護」と写る人の氏名の記載あり。

7-2-1(259)



**竣工時記念**

25.3×30.5cm  
コピー写真。

7-2-1(240)



**共済病院看護婦記念**

9.7×13.7cm  
裏面に「中村先生の元頭張った九舎のメンバー」と写る人の氏名の記載あり。

7-2-1(311)



**火曜会昭和十六年春季慰安会記念**

12.7×17.7cm  
コピー写真。「愛知県蒲郡海岸火曜会昭和十六年春季慰安会記念」のキャプションあり。裏面添付紙に「火工部第一、第二装填工場、火薬工場、三工場合同(火曜会)」の記載と写る人の氏名が一部あり。

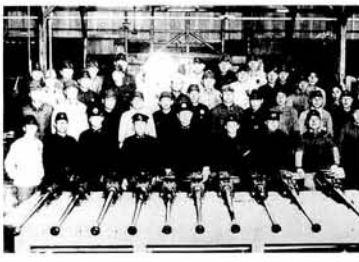
7-2-1(242)



**共済病院看護婦記念**

9.7×13.5cm  
裏面に「保健婦二期生」と写る人の氏名の記載あり。

7-2-1(700)



**機銃部記念**

12.7×17.8cm  
コピー写真。

7-2-1(59)



**共済病院看護婦記念(蒲郡)**

11.4×15.7cm  
裏面に「S18.7.26 於 蒲郡」の記載あり。

7-2-1(223)



**機銃部庁舎女子バレー部優勝記念**

13.0×19.0cm  
コピー写真。裏面に「機銃部庁舎バレー部優勝記念」の記載あり。

7-2-1(60)



**共済病院看護婦担架訓練記念**

10.3×13.3cm  
裏面に「共済病院の看護婦さん担架くんれん」の記載あり。





7-2-1(63)

共済病院看護婦等記念

9.2×12.2cm



7-2-1(64)

共済病院看護婦等記念

7.5×11.3cm



7-2-1(129)

共済病院新規入廠者との記念

10.9×14.9cm  
裏面に、4名の写る人の氏名の記載あり。



7-2-1(128)

共済病院新規入廠者との記念

11.2×15.4cm



7-2-1(498)

工員記念

13.0×18.0cm  
コピー写真。



7-2-1(703)

工員記念

19.8×25.1cm  
コピー写真。豊川稲荷にて。



7-2-1(714)

工員養成所一・二期生精神修養会記念

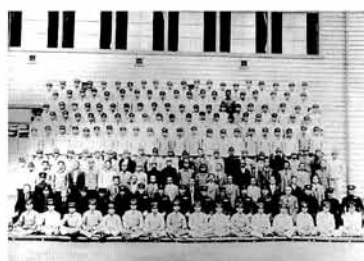
21.0×29.6cm  
コピー写真。昭和17年秋の花井寺における精神修養会の写真。



7-2-1(90)

工員養成所第一期生記念

21.0×27.0cm  
工廠正門前にて撮影。



7-2-1(252)

工員養成所二期生入廠記念

22.5×30.5cm  
コピー写真。裏面に写る人の氏名の記載あり。



7-2-1(546)

光学部開部記念

20.3×26.2cm  
コピー写真。添付紙に「豊川海軍工廠光学部開部記念 昭和十六年十二月二十日」及び写る人の氏名の記載あり。

7-2-1(543)



**光学部新築移転式二周年記念**

20.0×25.9cm

コピー写真。添付紙に「光学部新築移転式二周年記念 昭和十九年五月八日」及び写る人の氏名の記載あり。

7-2-1(125)



**昭和十八年二月全国海軍共済組合病院事務長打合せ**

17.7×25.1cm

台紙に「昭和十八年二月 全国海軍共済組合病院事務長打合せ 豊川於会議室」の記載あり。台紙裏面に、写真に写る人の所属と氏名の記載あり。

7-2-1(544)



**光学部庁舎移転一周年記念**

19.8×25.9cm

コピー写真。

7-2-1(124)



**昭和十六年四月全国海軍共済組合病院事務長打合せ記念**

14.5×19.9cm

台紙に「昭和十六年四月 全国海軍共済組合病院事務長打合せ、於横須賀海軍共済組合病院」の記載あり。

7-2-1(547)



**光学部庁舎完成移転記念**

20.2×26.0cm

コピー写真。

光学部

7-2-1(406)



**女子工員記念**

10.4×15.5cm

裏面に「豊川海軍工廠従業員記念写真」の記載あり。

7-2-1(785)



**工廠神社竣工式**

13.0×18.0cm

コピー写真。

7-2-1(524)



**女子工員記念**

8.3×12.1cm

裏面に「工場の友達記念写真 昭和十七年六月」及び写る人の氏名の記載あり。

7-2-1(627)



**柔道大会機銃部優勝記念**

12.1×17.3cm

コピー写真。昭和十七年五月二十七日の海軍記念日の豊川海軍工廠内柔道大会において、機銃部が優勝した時の記念写真。

7-2-1(699)



**女子工員雑日記念**

12.6×17.8cm

コピー写真。昭和十八・十九年頃という。

7-2-1(160)



**第五期工作科予備補習生合格記念**

10.8×15.0cm

裏面に「第五期工作科予備補習生合格 退廠の際撮影 向かって左より一中略一 昭和十七年四月十九日撮影する」と記載あり。

7-2-1(532)

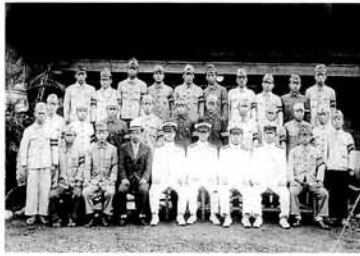


**豊川海軍工廠初代総務部長退廠記念(防火隊)**

11.2×15.5cm

「豊川海軍工廠初代総務部長退廠記念(防火隊) 皇紀二千六百年十一月二十一日記念撮影」のキャプションあり。台紙に写る人の氏名の記載あり。裏面に「豊川海軍工廠総務部長防火隊初代防火隊員トシテ記念撮影」と記載あり。

7-2-1(741)



**第五工員寄宿舎第三十三寮舎監・寮生記念**

13.7×19.4cm

裏面に「吉井 18.2.28 副寮長」の押印あり。

7-2-1(740)



**豊川海軍工廠錬成野球大会第五回優勝火工北部イ組優勝記念**

11.0×15.2cm

裏面に「豊川海軍工廠昭和十八年春期野球錬成大会優勝記念写真火工部イ組」と記されている。

7-2-1(536)



**第二工員寄宿舎第十寮記念**

19.3×27.2cm

7-2-1(203)



**養成工員記念**

12.8×18.7cm

7-2-1(17)



**電気工場変電所増設工事竣工記念**

20.3×26.3cm

裏面に「昭和十八年」の記載あり。裏面に、寄贈者が時期・出席者などを記した紙が貼られている。

7-2-1(202)



**養成工員記念**

10.4×15.3cm

7-2-1(18)



**電気工場変電所増設工事竣工記念**

20.3×26.3cm

裏面に「昭和十八年」の記載あり。裏面に、寄贈者が時期・出席者などを記した紙が貼られている。

7-2-2(465)



**火工部検査係員**

9.6×14.2cm

昭和19年のものという。

7-2-2(246)



共済病院看護婦記念

8.1×6.5cm  
コピー写真。

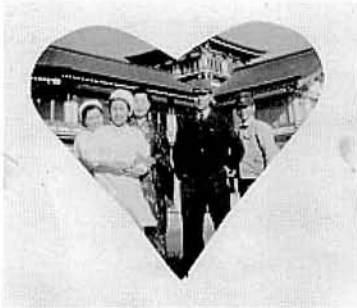
7-2-2(222)



工員記念

13.0×19.0cm  
コピー写真。「豊川海軍工廠昭和十八年第六工員寄宿舎四〇寮班長時代」の記載あり。

7-2-2(243)



共済病院看護婦記念

6.8×5.8cm

7-2-2(225)



工員記念

19.0×13.0cm  
コピー写真。裏面に「第六工員四十寮時代」の記載あり。

7-2-2(244)



共済病院看護婦記念

6.4×8.0cm  
コピー写真。

7-2-2(226)



工員記念

19.0×13.0cm  
コピー写真。裏面に「第六工員寄宿舎四〇寮班長時代」の記載あり。

7-2-2(245)



共済病院看護婦記念

7.0×8.6cm  
コピー写真。

7-2-2(227)



工員記念

19.0×13.0cm  
コピー写真。裏面に「第六工員寄宿舎四〇寮班長時代」の記載あり。

7-2-2(61)



共済病院看護婦と眼科医師記念

7.3×11.6cm  
裏面に「眼科の先生と」の記載あり。

7-2-2(720)



工員記念

12.7×17.5cm  
コピー写真。天竜峡疎開工場の工員の記念写真。昭和20年7月撮影という。

7-2-2(717)



**工員記念**

11.1×15.5cm  
撮影場所は第一工員寄宿舎で、時期は昭和17年1月頃ではないかという。

7-2-2(314)



**女子工員記念**

13.0×18.0cm  
コピー写真。裏面添付紙に写る人の氏名の記載あり。

7-2-2(719)



**工員記念**

12.7×17.5cm  
コピー写真。昭和18年頃撮影という。

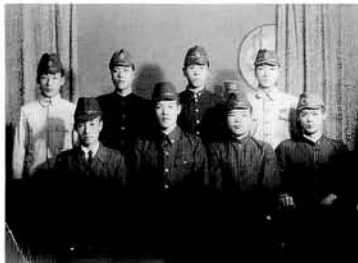
7-2-2(315)



**女子工員記念**

12.6×17.6cm  
コピー写真。

7-2-2(718)



**工員記念**

12.7×17.5cm  
コピー写真。火工部第三信管工場星政組の記念写真。

7-2-2(315)



**女子工員記念**

12.6×17.6cm  
コピー写真。

7-2-2(739)



**工員記念**

10.9×15.3cm  
裏面に「S18年豊川海軍工廠 第五工員寄宿舎三十三寮々長一同 前列右側本人 豊川在住 吉井幹夫」と書かれた紙が貼られている。

7-2-2(313)



**女子工員記念**

13.0×18.0cm  
コピー写真。裏面添付紙に「昭和十九年九月 日撮影」及び写る人の氏名の記載あり。

7-2-2(228)



**工員出征記念**

19.0×13.0cm  
コピー写真。裏面に「総務部刷版工場製本部時代 松山君入營記念」の記載あり。

7-2-2(519)



**女子工員記念**

15.2×11.0cm  
裏面に「豊川海軍工廠 昭和十七年十一月 友達記念写真」及び写る人の氏名の記載あり。



7-2-2(521)



### 女子工員記念

7.0×9.8cm

裏面に「昭和十七年四月友達核見」及び写る人の氏名の記載あり。

7-3-1(821)



### 浄書風景

13.0×18.0cm

コピー写真。

7-2-2(520)



### 女子工員記念

7.0×9.8cm

裏面に「昭和十七年四月友達と桜見物」及び写る人の氏名の記載あり。

7-3-1(822)



### 弾丸防湿作業風景

18.0×13.0cm

コピー写真。

7-2-2(224)



### 第六工員寄宿舎演芸大会記念

13.0×19.0cm

コピー写真。裏面に「第六工員寄宿舎演芸大会一位四〇寮」の記載あり。

7-3-1(823)



### 弾丸包装作業風景

18.0×13.0cm

コピー写真。

7-2-2(312)

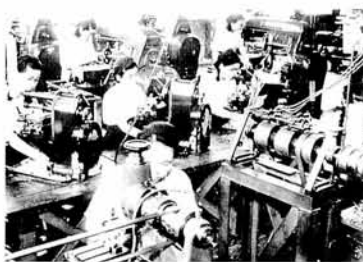


### 豊川海軍工廠報国隊員

12.3×17.4cm

コピー写真。裏面添付紙に「昭和十九年二月十一日撮影 豊川海軍工廠報国隊員 相野谷村出身」及び写る人の氏名の記載あり。

7-3-1(826)



### フライス盤作業風景

13.0×18.0cm

コピー写真。

7-3-1(827)



### 作業風景

18.0×13.0cm

コピー写真。

7-3-1(825)



### レンズ検査作業風景

18.0×13.0cm

コピー写真。

7-3-1(824)



レンズ研磨作業風景

13.0×18.0cm  
コピー写真。

7-3-2(810)



洗濯干し風景

13.0×18.0cm  
コピー写真。

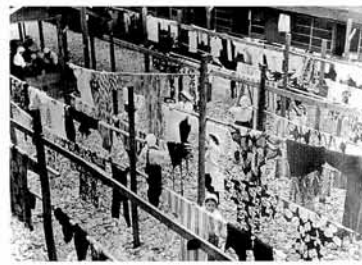
7-3-2(814)



園芸作業風景

13.0×18.0cm  
コピー写真。

7-3-2(811)



洗濯干し風景

13.0×18.0cm  
コピー写真。

7-3-2(808)



出勤風景

13.0×18.0cm  
コピー写真。

7-3-2(817)



掃除風景

18.0×13.0cm  
コピー写真。

7-3-2(828)



食事風景

18.0×13.0cm  
コピー写真。

7-3-2(816)



掃除風景

13.0×18.0cm  
コピー写真。

7-3-2(809)



洗濯風景

18.0×13.0cm  
コピー写真。

7-3-2(818)



調理風景

18.0×13.0cm  
コピー写真。



7-3-2(806)

**朝礼風景**

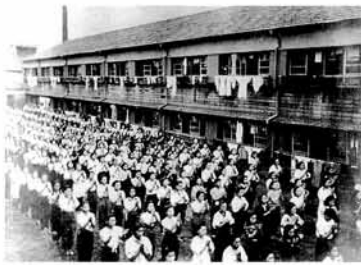
18.0×13.0cm  
コピー写真。



7-3-3(522)

**運動会**

5.3×5.7cm  
裏面に「工場の運動会」の記載あり。



7-3-2(805)

**朝礼風景**

13.0×18.0cm  
コピー写真。



7-3-3(812)

**学習風景**

13.0×18.0cm  
コピー写真。



7-3-2(807)

**点呼風景**

18.0×13.0cm  
コピー写真。



7-3-3(813)

**習字風景**

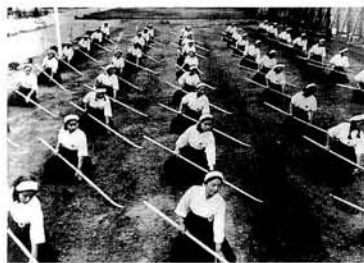
13.0×18.0cm  
コピー写真。



7-3-2(820)

**読書風景**

13.0×18.0cm  
コピー写真。



7-3-3(815)

**雑刀風景**

13.0×18.0cm  
コピー写真。



7-3-3(62)

**慰問団の来廠**

12.6×17.6cm  
裏面に「4月2日 副院長ヨリ哉ク私達ノ慰問団がきたとき」の記載あり。

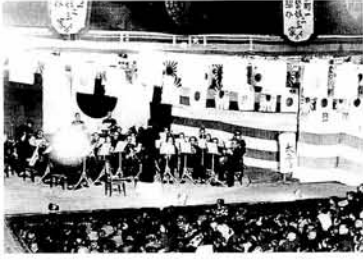


7-3-3(819)

**防火訓練風景**

13.0×18.0cm  
コピー写真。

7-3-3(804)



横須賀海軍軍楽隊演奏会

13.0×18.0cm

## 謝辞

桜ヶ丘ミュージアムが所蔵する豊川海軍工廠関係資料は、そのほとんどが寄贈によるもので、多くの方のご好意によりこのような資料群となるに至りました。ここに資料を寄贈いただいた方のお名前を記して、感謝申し上げます。

### 資料寄贈者(敬称略・50音順)

青山勇、秋山癸亥、浅沼正太郎、安立秀哉、渥美令一、天野昇治、天野正元、生田太一、池田明人、池田清、石川孝、石黒弘晃、石田栄治、伊藤文夫、稲垣勇、今井つよ、今井文子、伊与田胖、岩瀬正博、岩瀬美智男、岩本広政、上原芳信、浦野たづ子、大井孝弼、大久保満雄、大橋昇、大林正和、大島信雄、大羽文一郎、小笠原重利、小笠原ふゆ、小笠原道男、小川十三、小野寅三、加藤豊、加藤実、神谷勇、河合清、川島滝三、木村静雄、國持一男、畔柳秀夫、後藤政次、小長谷鉄次、小林圭次、近藤安佐子、斉藤まつゑ、榊原清兵衛、坂本治司、佐々木あき、佐野政子、佐原敏、佐溝力、沢田亘、清水章、清水豊子、柴田司郎、白井武康、白井豊一、白井勝、杉浦悦子、杉浦末松、鈴木章夫、鈴木一夫、鈴木高司、鈴木光儀、関根義夫、高島武夫、滝川伝、竹内正雄、竹尾薫、竹本辰夫、谷口渡、谷本栄子、玉井晋、筑地みつ、辻村浩利、筒井一夫、寺部一十、鳥山弘、内藤慈郎、内藤好春、中川金吾、永田康郎、中西次夫、中根強司、中野泰作、中村伊井佐久、仲谷とし子、中山巖、名古屋大学太陽地球環境研究所、鍋島長栄、新田隆平、野本邦久、八七会、浜谷静子、早川辰男、早川昌俊、林年男、林茂平、林李平、原喜八、彦坂実、樋口伊知郎、平岡之夫、平松憲、平松正二、深津清松、福原俊枝、藤城孝、藤田弘道、古田雪次、間瀬木茂、間瀬木光男、松井正一、松下和男、松永一男、松本吉寅、三木善人、水野兼男、武藤銃七郎、村井うたゑ、本島金二、森田和夫、森永貞夫、安井糸子、山内キミ、山内義男、山口登一、山田秋峰、山田賢治、山田寿々江、山本薫、山本定二、山本善彦、山脇保之、吉井幹夫、若山巖、和田勝、渡辺一郎、渡辺次郎、渡辺年江、度会道男



桜ヶ丘ミュージアム所蔵

## 豊川海軍工廠資料集

平成17年6月15日発行

---

編集・発行 桜ヶ丘ミュージアム

〒442-0064 愛知県豊川市桜ヶ丘町79-2

TEL:0533-85-3775 FAX:0533-85-3776

印刷・製本 大陽出版株式会社

---

